



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2003年 3月12日

出願番号 Application Number: 特願2003-066822

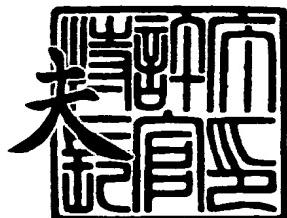
[ST. 10/C]: [JP2003-066822]

出願人 Applicant(s): セイコーエプソン株式会社

2003年11月13日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康



Atty. Docket No. ITECP006

出証番号 出証特2003-3094079

【書類名】 特許願

【整理番号】 PNSEA251

【提出日】 平成15年 3月12日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

【氏名】 内田 康彦

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

【氏名】 玉川 博康

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

【氏名】 百瀬 悟

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

【氏名】 下田 和紀

【特許出願人】

【識別番号】 000002369

【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

【識別番号】 110000017

【氏名又は名称】 特許業務法人アイテック国際特許事務所

【代表者】 伊神 広行

【電話番号】 052-218-3226

【手数料の表示】**【予納台帳番号】** 129482**【納付金額】** 21,000円**【提出物件の目録】****【物件名】** 明細書 1**【物件名】** 図面 1**【物件名】** 要約書 1**【包括委任状番号】** 0105216**【プルーフの要否】** 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷ジョブ作成装置、印刷実行指示方法、デフォルト装置設定方法およびこれらに用いるプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷ジョブ作成装置であって、

用紙サイズを含む印刷条件の設定工程を含む複数の工程により印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成手段と、

印刷ジョブに設定された用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定手段と、

印刷ジョブの実行が要請されたとき、該指示に係る印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示するジョブ実行指示手段と、

を備える印刷ジョブ作成装置。

【請求項 2】 請求項1記載の印刷ジョブ作成装置であって、

前記第2のローカルネットワークは、前記第2のローカル印刷装置に印刷ジョブの実行を指示可能な印刷実行指示装置が接続されてなり、

前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブを実行する印刷装置として前記デフォルト装置設定手段により前記第2のローカル印刷装置が設定されているときには、該要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力する手段である

印刷ジョブ作成装置。

【請求項 3】 前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力するときには、該印刷

ジョブと共に該印刷ジョブの実行の要請に関する実行要請情報を出力する手段である請求項2記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項4】 前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力するときには、該印刷ジョブを前記グローバルなネットワークに接続され印刷ジョブを前記印刷実行指示装置に配信可能な印刷管理サーバに送信する手段である請求項2または3記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項5】 前記デフォルト装置設定手段は、前記第1のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第1のローカル印刷装置による印刷ジョブの実行に関する実行関連情報を用いて設定し、前記第2のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第2のローカル印刷装置と前記印刷実行指示装置とに関する装置関連情報を用いて設定する手段である請求項2ないし4いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項6】 前記デフォルト装置設定手段は、前記第1のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第1のローカル印刷装置のプリンタドライバを前記実行関連情報として用いて設定する手段である請求項5記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項7】 請求項1ないし6いずれか記載の印刷ジョブ作成装置であつて、

少なくとも前記第1のローカルネットワークを介して印刷ジョブを取得するジョブ取得手段を備え、

前記ジョブ実行指示手段は、前記取得した印刷ジョブの実行を指示可能な手段である

印刷ジョブ作成装置。

【請求項8】 前記ジョブ取得手段は、前記グローバルなネットワークを介して印刷ジョブを取得する手段である請求項7記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項9】 前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズに対して帳票形式でデフォルトの印刷装置を設定する手段である請求項1ないし8いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 10】 前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズ毎に表示される選択可能な印刷装置の一覧から選択することにより用紙サイズ毎のデフォルトの印刷装置を設定する手段である請求項 1 ないし 9 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 11】 前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズ毎に設定されたデフォルトの印刷装置に対して用紙種類を設定可能な手段である請求項 1 ないし 10 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 12】 請求項 1 ないし 11 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置であって、

前記印刷ジョブ作成手段は、複数種類の印刷サービスから一つの印刷サービスを選択して印刷ジョブを作成する手段であり、

前記デフォルト装置設定手段は、前記印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定する手段である

印刷ジョブ作成装置。

【請求項 13】 前記複数種類の印刷サービスは、大伸ばし印刷サービス、ダイジェスト印刷サービス、カレンダー印刷サービス、ポストカード印刷サービス、写真名刺印刷サービス、証明写真印刷サービス、シール印刷サービス、ラベル印刷サービス、アルバム印刷サービスのいずれかを含む請求項 12 記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 14】 請求項 1 ないし 13 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置であって、

印刷ジョブを実行する印刷装置を設定する実行装置設定手段を備え、

前記ジョブ実行指示手段は、前記実行装置設定手段により印刷ジョブを実行する印刷装置が設定されているときには該設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示し、前記実行装置設定手段により印刷ジョブを実行する印刷装置が設定されていないときには前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示する手段である

印刷ジョブ作成装置。

【請求項 15】 前記実行装置設定手段は、印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置がデフォルト値として設定され、該デフォルト値を変更することにより印刷ジョブを実行する印刷装置を設定する手段である請求項14記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 16】 コンピュータを請求項1ないし15いずれか記載の印刷ジョブ作成装置として機能させるプログラム。

【請求項 17】 コンピュータに印刷ジョブを実行するためのデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定方法であって、

印刷ジョブに設定される用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定する

デフォルト装置設定方法。

【請求項 18】 用紙サイズに対して帳票形式でデフォルトの印刷装置を設定する請求項17記載のデフォルト装置設定方法。

【請求項 19】 用紙サイズ毎に表示される選択可能な印刷装置の一覧から選択することにより用紙サイズ毎のデフォルトの印刷装置を設定する請求項17または18記載のデフォルト装置設定方法。

【請求項 20】 複数種類の印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定する請求項17ないし19いずれか記載のデフォルト装置設定方法。

【請求項 21】 コンピュータに請求項17ないし20いずれか記載のデフォルト装置設定方法を実行させるプログラム。

【請求項 22】 印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷実行指示方法であって、

(a) 印刷ジョブに設定された用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、前記印刷ジョブ管理装置と第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネット

ワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続している少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定し、

(b) 印刷ジョブの実行が要請されたとき、該指示に係る印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルトの印刷装置として設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示する

印刷実行指示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、印刷ジョブ作成装置、印刷実行指示方法、デフォルト装置設定方法およびこれらに用いるプログラムに関し、詳しくは、印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷ジョブ作成装置、コンピュータに印刷ジョブを実行するためのデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定方法、印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷実行指示方法およびこれらに用いるプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、この種の印刷ジョブ作成装置としては、デジタルカメラで撮影した画像を読み込んで簡単な修正を施したり、ポストカードやアルバムなどのレイアウトに組み込むと共に印刷条件を設定して印刷したりするものが提案されている。この装置では、予め写真を読み込んで所望のカテゴリーに分類してフィルムのように保存しておく、印刷ジョブの作成を、フィルムの選択、ポストカードの作成やアルバム印刷、カレンダーの作成などの印刷サービスの選択、印刷する写真の選択、スタイルや印刷オプションやプリンタを指定するプリント指定、写真が組み込まれたページのレイアウトの調整、印刷位置の微調整や印刷部数の入力と共に印刷実行を指示する印刷の工程で行なっている。プリンタの選択は、プリント指定の際にOS（オペレーションシステム）で通常使用するプリンタとして設定されたプリンタが選択欄にデフォルトとして表示され、プルダウンメニューからプリンタを選択することができるようになっている（非特許文献1参照）。

【0003】**【非特許文献1】**

「デジカメde!!同時プリント6ユーザーズ・マニュアル」，第1版，エー・アイ・ソフト株式会社，2002年7月，p. 100-104

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、こうした印刷ジョブ作成装置は、一般家庭の個人を対象に作成されているため、業務として用いた場合には、印刷効率が低いものになってしまふ。個人の場合、通常はA4サイズやB4サイズまでの印刷が可能な1台のプリンタがコンピュータに接続されており、プリンタの指定は通常そのプリンタを用いるだけであるから、デフォルトとしてはそのプリンタが設定されておればよいが、業務として用いた場合には、印刷できるサイズが異なると共にセットされている用紙種類も異なる複数台のプリンタを用いて印刷することが想定され、印刷毎にプリンタを選択するものとすれば、印刷効率の低下を招いてしまう。

【0005】

本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷実行指示方法は、印刷ジョブに応じた印刷装置で印刷ジョブを実行することを目的の一つとする。また、本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷実行指示方法は、異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として印刷ジョブを実行することを目的の一つとする。本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷実行指示方法並びにデフォルト装置設定方法は、印刷ジョブに応じた印刷装置をデフォルトの印刷装置として簡易に設定することを目的の一つとする。また、本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷実行指示方法並びにデフォルト装置設定方法は、異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定することを目的の一つとする。本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムは、コンピュータを、印刷ジョブに応じた印刷装置で印刷ジョブを実行すると共に異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として印刷ジョブを実行する印刷ジョブ作成装置として機能させることを目的とする。また、本発明のデフォルト装置設定方法用のプログラムは、印刷ジョブに応じた印刷装置を

デフォルトの印刷装置として簡易に設定すると共に異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定する処理をコンピュータに実行させることを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段およびその作用・効果】

本発明の印刷ジョブ作成装置、印刷実行指示方法、デフォルト装置設定方法およびこれらに用いるプログラムは、上述の目的の少なくとも一部を達成するため以下の手段を探った。

【0007】

本発明の印刷ジョブ作成装置は、
印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷ジョブ作成装置であって、
用紙サイズを含む印刷条件の設定工程を含む複数の工程により印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成手段と、

印刷ジョブに設定された用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定手段と、

印刷ジョブの実行が要請されたとき、該指示に係る印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示するジョブ実行指示手段と、

を備えることを要旨とする。

【0008】

この本発明の印刷ジョブ作成装置では、印刷ジョブの実行が要請されたときは、第1のローカルネットワークに接続された第1のローカル印刷装置やこの第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続された第2のローカル印刷装置のうち印刷ジョブ

に設定された用紙サイズに対してデフォルトの印刷装置として設定された印刷装置で印刷ジョブが実行されるよう印刷ジョブの実行を指示する。この結果、印刷ジョブを実行する印刷装置を設定することなく、デフォルトの印刷装置として設定された第1のローカル印刷装置や第2のローカル印刷装置で印刷ジョブを実行することができる。しかも、デフォルトの印刷装置は用紙サイズ毎に設定されているから、印刷ジョブに応じた印刷装置で印刷ジョブを実行することができる。

【0009】

こうした本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記第2のローカルネットワークは前記第2のローカル印刷装置に印刷ジョブの実行を指示可能な印刷実行指示装置が接続されてなり、前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブを実行する印刷装置として前記デフォルト装置設定手段により前記第2のローカル印刷装置が設定されているときには、該要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力する手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷ジョブを受信した第2のローカルネットワークに接続された印刷実行指示装置により印刷ジョブをデフォルトの印刷装置で印刷することができる。ここで、印刷実行指示装置は、印刷装置と一体のものとして構成することもできる。

【0010】

この印刷ジョブを印刷実行指示装置に送信する態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力するときには、該印刷ジョブと共に該印刷ジョブの実行の要請に関する実行要請情報を出力する手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷実行指示装置に印刷ジョブの実行の要請を知らしめることができる。

【0011】

また、印刷ジョブを印刷実行指示装置に送信する態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記ジョブ実行指示手段は、前記要請に係る印刷ジョブが前記印刷実行指示装置に送信されるよう該印刷ジョブを出力するときには、該印刷ジョブを前記グローバルなネットワークに接続され印刷ジョブを前記印刷実行指示

装置に配信可能な印刷管理サーバに送信する手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷実行指示装置の状態に拘わらず、印刷ジョブを送信することができる。

【0012】

さらに、印刷ジョブを印刷実行指示装置に送信する態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記デフォルト装置設定手段は、前記第1のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第1のローカル印刷装置による印刷ジョブの実行に関する実行関連情報を用いて設定し、前記第2のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第2のローカル印刷装置と前記印刷実行指示装置とに関する装置関連情報を用いて設定する手段であるものとすることもできる。この態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記デフォルト装置設定手段は、前記第1のローカル印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定するときには該第1のローカル印刷装置のプリンタドライバを前記実行関連情報として用いて設定する手段であるものとすることもできる。

【0013】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、少なくとも前記第1のローカルネットワークを介して印刷ジョブを取得するジョブ取得手段を備え、前記ジョブ実行指示手段は、前記取得した印刷ジョブの実行を指示可能な手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷ジョブを取得して実行することができる。したがって、第1のローカルネットワークと第2のローカルネットワークにそれぞれ本発明の印刷ジョブ作成装置を接続すれば、相互に印刷ジョブのやりとりを行なうことができる。この態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記ジョブ取得手段は、前記グローバルなネットワークを介して印刷ジョブを取得する手段であるものとすることもできる。

【0014】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズに対して帳票形式でデフォルトの印刷装置を設定する手段であるものとすることもできる。こうすれば、簡易にデフォルトの印刷装置を設定することができる。

【0015】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズ毎に表示される選択可能な印刷装置の一覧から選択することにより用紙サイズ毎のデフォルトの印刷装置を設定する手段であるものとすることもできる。こうすれば、より簡易にデフォルトの印刷装置を設定することができる。

【0016】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記デフォルト装置設定手段は、用紙サイズ毎に設定されたデフォルトの印刷装置に対して用紙種類を設定可能な手段であるものとすることもできる。こうすれば、より印刷ジョブに応じたものとすることができる。

【0017】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記印刷ジョブ作成手段は複数種類の印刷サービスから一つの印刷サービスを選択して印刷ジョブを作成する手段であり、前記デフォルト装置設定手段は前記印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定する手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定するから、印刷ジョブにより応じた印刷装置をデフォルトとして設定することができる。この態様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記複数種類の印刷サービスは、大伸ばし印刷サービス、ダイジェスト印刷サービス、カレンダー印刷サービス、ポストカード印刷サービス、写真名刺印刷サービス、証明写真印刷サービス、シール印刷サービス、ラベル印刷サービス、アルバム印刷サービスのいずれかを含むものとすることもできる。

【0018】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、印刷ジョブを実行する印刷装置を設定する実行装置設定手段を備え、前記ジョブ実行指示手段は、前記実行装置設定手段により印刷ジョブを実行する印刷装置が設定されているときには該設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示し、前記実行装置設定手段により印刷ジョブを実行する印刷装置が設定されていないときには前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示する手段であるものとすることもできる。

こうすれば、所望の印刷装置により印刷ジョブを実行することができる。この様の本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記実行装置設定手段は、印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置がデフォルト値として設定され、該デフォルト値を変更することにより印刷ジョブを実行する印刷装置を設定する手段であるものとすることもできる。こうすれば、印刷ジョブを実行する印刷装置を容易に設定することができる。

【0019】

本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムは、コンピュータを、上述のいずれかの様の本発明の印刷ジョブ作成装置、即ち、基本的には、印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷ジョブ作成装置であって、用紙サイズを含む印刷条件の設定工程を含む複数の工程により印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成手段と、印刷ジョブに設定された用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定手段と、印刷ジョブの実行が要請されたとき、該指示に係る印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルト装置設定手段により設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示するジョブ実行指示手段と、を備える印刷ジョブ作成装置として機能させることを要旨とする。

【0020】

この本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムでは、コンピュータを上述のいずれかの様の本発明の印刷ジョブ作成装置として機能させるから、本発明の印刷ジョブ作成装置が奏する効果、例えば、印刷ジョブを実行する印刷装置を設定することなくデフォルトの印刷装置として設定された第1のローカル印刷装置や第2のローカル印刷装置で印刷ジョブを実行することができる効果や印刷ジョブに応じた印刷装置で印刷ジョブを実行することができる効果などと同様な効果

を奏することができる。

【0021】

本発明のデフォルト装置設定方法は、

コンピュータに印刷ジョブを実行するためのデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定方法であって、

印刷ジョブに設定される用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定する

ことを要旨とする。

【0022】

この本発明のデフォルト装置設定方法によれば、印刷ジョブに設定される用紙サイズ毎に、第1のローカルネットワークを介して接続されている第1のローカル印刷装置やこの第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている第2のローカル印刷装置のうちからデフォルトの印刷装置を設定するから、印刷ジョブに応じた印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定することができると共に異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定することができる。

【0023】

こうした本発明のデフォルト装置設定方法において、用紙サイズに対して帳票形式でデフォルトの印刷装置を設定するものとすることもできる。こうすれば、より簡易にデフォルトの印刷装置を設定することができる。

【0024】

また、本発明のデフォルト装置設定方法において、用紙サイズ毎に表示される選択可能な印刷装置の一覧から選択することにより用紙サイズ毎のデフォルトの印刷装置を設定するものとすることもできる。こうすれば、より簡易にデフォル

トの印刷装置を設定することができる。

【0025】

さらに、本発明のデフォルト装置設定方法において、複数種類の印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定するものとすることもできる。こうすれば、印刷サービス毎にデフォルトの印刷装置を設定することができる。

【0026】

本発明のデフォルト装置設定方法用のプログラムは、コンピュータに上述のいずれかの態様の本発明のデフォルト装置設定方法、即ち、基本的には、印刷ジョブを実行するためのデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定方法であって、印刷ジョブに設定される用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続されている少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定するデフォルト装置設定方法を実行させることを要旨とする。

【0027】

このデフォルト装置設定方法用のプログラムによれば、コンピュータに上述のいずれかの態様の本発明のデフォルト装置設定方法を実行させるから、本発明のデフォルト装置設定方法が奏する効果、例えば、印刷ジョブに応じた印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定することができる効果や異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定することができる効果などと同様な効果を奏することができる。

【0028】

本発明の印刷実行指示方法は、

印刷ジョブを作成して実行を指示する印刷実行指示方法であって、

(a) 印刷ジョブに設定された用紙サイズ毎に、印刷ジョブを実行する印刷装置として、前記印刷ジョブ管理装置と第1のローカルネットワークを介して接続されている少なくとも一つの第1のローカル印刷装置と、該第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワ

ークに接続している少なくとも一つの第2のローカル印刷装置とを含む複数の印刷装置からデフォルトの印刷装置を設定し、

(b) 印刷ジョブの実行が要請されたとき、該指示に係る印刷ジョブに設定された用紙サイズに基づいて前記デフォルトの印刷装置として設定された印刷装置で該印刷ジョブが実行されるよう該印刷ジョブの実行を指示することを要旨とする。

【0029】

この本発明の印刷実行指示方法によれば、印刷ジョブの実行が要請されたときに、第1のローカルネットワークに接続された第1のローカル印刷装置やこの第1のローカルネットワークにグローバルなネットワークを介して接続された第2のローカルネットワークに接続された第2のローカル印刷装置のうち印刷ジョブに設定された用紙サイズに対してデフォルトの印刷装置として設定された印刷装置で印刷ジョブが実行されるよう印刷ジョブの実行を指示するから、印刷ジョブを実行する印刷装置を設定することなく、デフォルトの印刷装置として設定された第1のローカル印刷装置や第2のローカル印刷装置で印刷ジョブを実行することができる。しかも、デフォルトの印刷装置は用紙サイズ毎に設定されているから、印刷ジョブに応じた印刷装置で印刷ジョブを実行することができる。

【0030】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態を実施例を用いて説明する。図1は、本発明の一実施例である印刷ジョブ作成装置20を備える印刷ジョブ管理システム10の構成の概略を示す構成図である。実施例の印刷ジョブ管理システム10は、図示するように、印刷ジョブ作成装置20やインクジェットプリンタ46などが接続されたローカルネットワーク14と印刷ジョブ作成装置20やインクジェットプリンタ47、大型プリンタ48などが接続されたローカルネットワーク15とが各自ファイヤウォール16、17を介してインターネットのようなグローバルなネットワーク12により接続されて構成されており、ネットワーク12にはジョブ管理装置40が接続されている。説明の容易のため、ローカルネットワーク14は店舗Aに構築されており、ローカルネットワーク15は店舗Bに構築されている

ものとする。即ち、店舗Aには印刷ジョブ作成装置20とインクジェットプリンタ46とが設置されてローカルネットワーク14に接続されており、店舗Bには印刷ジョブ作成装置20とインクジェットプリンタ47と大型プリンタ48とが設置されてローカルネットワーク15に接続されているものとするのである。

【0031】

図2は、実施例の印刷ジョブ作成装置20の構成の概略を示す説明図である。実施例の印刷ジョブ作成装置20は、アプリケーションソフトウェアとしての図示しない印刷ジョブ作成プログラムと印刷に用いるテンプレート画像などの支援データとがインストールされた一般的なコンピュータとして構成されており、印刷ジョブ作成プログラムが実行されたときに印刷ジョブ作成装置として機能する。実施例の印刷ジョブ作成装置20は、カレンダーの作成やポストカードの作成など複数の印刷サービスとしての印刷ジョブを作成すると共に印刷ジョブの実行を指示する装置であり、図2に示すように、機能ブロックとして、複数の印刷サービスから印刷ジョブを作成するサービスの設定を受け付けるサービス設定管理部21と、印刷ジョブに用いる画像の登録を管理する画像登録管理部22と、印刷ジョブに用いるテンプレートの設定を管理するテンプレート設定管理部23と、画像のレイアウトの調整や画像に施す編集を管理するレイアウト編集管理部24と、印刷の設定や指示を管理する印刷管理部25と、作成中の印刷ジョブの中斷処理を行なうジョブ中断処理部26と、中断された作成中の印刷ジョブ（以下、作成中ジョブという）の作成を再開するジョブ再開処理部27と、印刷の実行指示がなされた印刷ジョブの送信を管理するジョブ送信管理部28と、ジョブ管理装置40から送信される印刷を実行すべき印刷ジョブの受信を管理するジョブ受信管理部29と、プリンタの設定を管理するプリンタ設定管理部30とを備える。実施例の印刷ジョブ作成装置20は、図示しないが、この他、作成中ジョブを他の印刷ジョブ作成装置20に送受信するためのジョブ入出力管理部や作成中ジョブや印刷実行済みのジョブを複製して新たな印刷ジョブの作成を開始するジョブ複製処理部なども備える。図1には、紙面の都合上、ローカルネットワーク14、15には、1台の印刷ジョブ作成装置20が接続されているものとして示したが、両ローカルネットワーク14、15には複数台の印刷ジョブ作成装置2

0を接続することができる。

【0032】

インクジェットプリンタ46やインクジェットプリンタ47は、A4サイズまでの高品質なカラー印刷が可能なプリンタとして構成されており、大型プリンタ48は、A1サイズまでの高品質なカラー印刷が可能なプリンタとして構成されている。また、図1には、紙面の都合上、ローカルネットワーク14には1台のインクジェットプリンタ46が、ローカルネットワーク15には1台のインクジェットプリンタ47と1台の大型プリンタ48とが接続されているものとして示したが、ローカルネットワーク14、15には同一または異なる機種の複数台のプリンタを接続することができる。

【0033】

図3は、ジョブ管理装置40の構成の概略を示す構成図である。ジョブ管理装置40は、各印刷ジョブ作成装置20から送信された印刷を実行する印刷ジョブのファイルを受け付けると共にそのファイルの送信先として指定された他の印刷ジョブ作成装置20に送信するための管理サーバとして構成されており、図示するように、印刷ジョブ作成装置20から送信されるジョブファイルの受信を管理するジョブ受信管理部41と、ジョブファイルの送信先としての印刷ジョブ作成装置20への送信を管理するジョブ送信管理部42と、ジョブ受信管理部41によるジョブファイルの受信の管理に用いられると共にジョブ送信管理部42によるジョブファイルの送信の管理に用いられるジョブ管理データベース44とを備える。

【0034】

次に、こうして構成された実施例の印刷ジョブ作成装置20やジョブ管理装置40の動作について説明する。以下は、印刷ジョブ作成装置20の動作を中心に説明し、必要に応じてジョブ管理装置40の動作について説明する。

【0035】

図4は、アプリケーションソフトウェアとしての図示しない印刷ジョブ作成プログラムを起動したときの印刷ジョブ作成装置20の画面上に表示されるメニュー画面60の一例を示す説明図である。図4のメニュー画面60には、印刷サー

ビスを選択するためのサービス選択領域61と、印刷ジョブを一覧表示するジョブリスト領域62とが設けられている。サービス選択領域61には、プリントサービスの選択ボタンとして、画像を大判印刷する「大伸ばし」ボタン61a、複数の画像をダイジェストとして印刷する「ダイジェスト」ボタン61b、画像を用いてカレンダーを印刷する「カレンダー」ボタン61c、種々のデザインのテンプレートを用いて画像を印刷する「アイデア」ボタン61d、ハガキに画像を印刷する「ポストカード」ボタン61e、写真付きの名刺を印刷する「写真名刺」ボタン61f、証明写真を印刷する「証明写真」ボタン61g、多数の画像のインデックスを印刷する「インデックス」ボタン61h、画像を用いたシールを作成する「シール」ボタン61i、CDやDVDなどのラベルを作成する「ラベル」61jなど、アルバムサービスの選択ボタンとして、種々のデザインのテンプレートを用いてアルバムを作成する「デザイン」ボタン61k、シンプルなテンプレートを用いてアルバムを作成する「シンプル」61lなど、CD書き込みサービスとして、画像をそのままCDに書き込む「CD書き込み（無変換）」ボタン61m、画像のサイズを1600×1200にリサイズしてCDに書き込む「CD書き込み（1600×1200）」ボタン61nなど、が用意されている。ジョブリスト領域62には、作成中ジョブについて、その状況、ジョブID、サービス名、受付時間、更新時間、用紙サイズ、部数、合計枚数、コメントが一覧表示されるようになっている。また、メニュー画面60には、ジョブリスト領域62の下方には、「アプリケーションの終了」ボタン63が設けられている他、画像の取込先の設定やサービスの設定、作業フォルダの設定、CD書き込みの設定、カラーマネージメントの設定などの各種設定を行なう「環境設定」ボタン64が設けられている。

【0036】

「環境設定」ボタン64を操作した際に表示される環境設定選択画面65の一例を図5に示す。この図5の例では、サービスの設定が選択されており、このサービスの設定の画面から「印刷プリンタの設定」ボタン65aを操作することにより印刷プリンタ設定画面66が表示され、印刷プリンタのデフォルトの設定を行なうことができるようになっている。印刷プリンタ設定画面66の一例を図6

に示す。実施例の印刷プリンタ設定画面66は、図示するように、左側に印刷サービスの一覧が表示されると共に上覧に用紙サイズが表示された帳票形式として構成されており、印刷サービス毎に用紙サイズ毎にデフォルトのプリンタが設定できるようになっている。各設定領域は、印刷するプリンタを設定する上段のプリンタ設定欄67と、印刷用紙の種類を設定する下段の用紙種類設定欄68との二段の設定欄として構成されている。各設定欄67, 68は、プルダウンメニュー67a, 68bを開いて表示される選択可能なプリンタや用紙種類から選択することにより設定できるようになっている。

【0037】

店舗Aの印刷ジョブ作成装置20によりプリンタ設定欄67のプルダウンメニュー67aを開いたときの一例を図7に示す。図示するように、プリンタ設定欄67のプルダウンメニュー67aには、店舗Aのローカルネットワーク14に接続されたインクジェットプリンタ46が表示される他、店舗Bのインクジェットプリンタ47や大型プリンタ48も表示される。ユーザは、印刷サービス毎および用紙サイズ毎のプリンタ設定欄67のプルダウンメニュー67aから所望のプリンタを選択することにより、デフォルトのプリンタを設定することができる。ここで、ローカルネットワーク14に接続されたプリンタ（インクジェットプリンタ46）が選択されて設定されたときには、そのプリンタを印刷ジョブ作成装置20に適合させるために印刷ジョブ作成装置20にインストールされたプリンタドライバが用いられて印刷されるようプリンタドライバ名が設定され、ローカルネットワーク15に接続されたプリンタ（インクジェットプリンタ47や大型プリンタ48）が選択されて設定されたときには、ローカルネットワーク15に接続された印刷ジョブ作成装置20のうち対応するプリンタのプリンタドライバがインストールされた印刷ジョブ作成装置20の装置IDと対応するプリンタIDとが設定される。こうしたプルダウンメニュー67aに表示されるプリンタやその設定項目については、それらを関連付けたテーブルを印刷ジョブ作成装置20毎に作成して用いるものとしてもよいし、作成されたテーブルをジョブ管理装置40から各印刷ジョブ作成装置20に配信して用いるものとしてもよい。

【0038】

店舗Aの印刷ジョブ作成装置20により用紙種類設定欄68のプルダウンメニュー68aを開いたときの一例を図8に示す。図示するように、用紙種類設定欄68のプルダウンメニュー68aには、普通紙やスーパーファイン専用紙、フォトプリント紙などの用紙種類が選択可能に表示される。ユーザは、印刷サービス毎および用紙サイズ毎の用紙種類設定欄68のプルダウンメニュー68aから所望の用紙種類を選択することにより、デフォルトの用紙種類を設定することができる。なお、こうしたデフォルトのプリンタの設定や用紙種類の設定は、プリンタ設定管理部30により実行されて管理されている。

【0039】

実施例の印刷ジョブ作成装置20による印刷ジョブの作成は、図9に例示する印刷ジョブ作成処理に基づいて行なわれる。印刷ジョブ作成処理は、まず、印刷サービスの選択を受け付ける処理から始まる（ステップS100）。印刷サービスの選択は、ユーザが図4に例示したメニュー画面60のサービス選択領域61からいずれかのサービスボタン61a～61nを選択することにより行なわれる。印刷ジョブ作成装置20のサービス設定管理部21は、こうしたメニュー画面60の表示や選択されたサービスの選択の受け付け及び選択されたサービスによる印刷ジョブの作成の開始を管理している。

【0040】

印刷サービスが選択されると、実施例の印刷ジョブ作成装置20は、図10に例示する画像登録画面70を表示して、選択された印刷サービスに用いる画像の登録処理を実行する（ステップS110）。図10の例の画像登録画面70は、印刷ジョブの作成の工程を示す工程表示領域71と、画像の登録処理を行なう画像登録処理領域72とに分けられている。工程表示領域71には、選択された印刷サービスの種類を示す「サービス種類表示」ボタン71aや印刷ジョブの作成工程としての「画像登録」ボタン71b、「テンプレート選択」ボタン71c、「レイアウト編集」ボタン71d、「印刷」ボタン71e、印刷ジョブの作成を中断してメニュー画面60に戻る「メニューに戻る」ボタン71fが設けられている。画像登録処理領域72は、「画像登録」ボタン71bと連結して表示されており、印刷ジョブの作成工程が画像登録の工程にあることが解るようになつ

ている。

【0041】

この画像登録処理領域72には、作業領域73が設けられており、この作業領域73には、画像が格納されている格納場所（ディレクトリやフォルダ）を選択することによりその格納場所に格納されている画像のサムネイルとファイル名とを一覧表示するための画像選択領域74と、登録された画像のサムネイルとファイル名とを一覧表示するための登録画像表示領域75とが設けられている。また、作業領域73には、画像選択領域74で選択された画像を登録して登録画像表示領域75で表示するための「登録」ボタン76や画像選択領域74に表示されたすべての画像を登録して登録画像表示領域75で表示するための「すべて登録」ボタン77も設けられている。したがって、ユーザは、画像選択領域74の格納場所表示領域74aから画像の格納場所を選択し、この選択により画像選択領域74の画像表示領域74bに表示される画像（選択された格納場所に格納された画像）から所望の画像を選択して「登録」ボタン76を操作することにより所望の画像を登録して登録画像表示領域75の画像表示領域75aに表示することができる。登録画像表示領域75には、画像表示領域75aで選択した画像の登録を取り消すための「登録削除」ボタン75bや登録されたすべての画像の登録を取り消すための「すべて登録削除」ボタン75cなども設けられている。また、画像登録処理領域72には、画像の登録処理を終了して次の作成工程に進むための「次のステップへ」ボタン72aや前の作成工程に戻る「前のステップへ」ボタン72bも設けられている。なお、画像登録画面70における「前のステップへ」ボタン72bは、画像登録処理を終了してメニュー画面60に戻るためのボタンとなるから、機能的には「メニューに戻る」ボタン71fと同一となる。印刷ジョブ作成装置20の画像登録管理部22は、こうした画像の登録処理を管理している。

【0042】

画像が登録されて「次のステップへ」ボタン72aが操作されると、図11に例示するテンプレート選択画面80を表示して、登録された画像をはめ込むためのテンプレートの選択処理を実行する（ステップS120）。図11の例のテン

プレート選択画面80は、図10に例示した画像登録画面70の工程表示領域71と同様の工程表示領域81と、テンプレートの選択を行なうテンプレート選択処理領域82とに区分けされている。このテンプレート選択画面80では、工程表示領域81の「テンプレート選択」ボタン81cがテンプレート選択処理領域82と連結されており、印刷ジョブの作成工程がテンプレート選択の工程にあることが解るようになっている。

【0043】

テンプレート選択処理領域82には、テンプレートの設定を行なうための設定領域83と、テンプレートを選択するためのテンプレート選択領域84とが設けられている。設定領域83には、テンプレートとして使用する使用レイアウトを直接入力する入力欄やフチなしプリントを設定するためのチェックボックス、「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用してデジタルカメラとプリンタとのイメージマッチングを行なうためのチェックボックスが設けられている。テンプレート選択領域84には、テンプレートの種類毎にタグ85a～85fが設けられており、各タグ85a～85fには、テンプレートのサムネイルとそのファイル名とを一覧表示するためのテンプレート表示領域86a～86fが設けられている。ユーザは、各タグ85a～85fから所望のタグを選択すると共に選択したタグのテンプレート表示領域に表示されたテンプレートから所望のテンプレートを選択することにより、テンプレートの選択を行うことができる。なお、このテンプレートの選択が行なわれると、設定領域83の使用レイアウトの入力欄に選択したファイル名が表示されるようになっている。なお、テンプレート選択領域84には、用紙サイズを選択するための用紙サイズの選択入力欄も設けられている。また、テンプレート選択処理領域82には、画像登録処理領域72と同様に「次のステップへ」ボタン82aと「前のステップへ」ボタン82bとが設けられている。テンプレート選択画面80では、「前のステップへ」ボタン82bが操作されると、画像登録画面70を表示して印刷ジョブの作成工程における前の工程である画像の登録処理8ステップS110)に戻る。印刷ジョブ作成装置20のテンプレート設定管理部23は、こうしたテンプレートの選択処理を管理している。

【0044】

テンプレートが選択されて「次のステップへ」ボタン82aが操作されると、図12に例示するレイアウト編集画面90を表示して、画像のレイアウトを調整したり編集を施すレイアウト編集処理を実行する（ステップS130）。図6の例のレイアウト編集画面90は、図10に例示した画像登録画面70や図11に例示したテンプレート選択画面80の工程表示領域71, 81と同様の工程表示領域91と、画像のレイアウトや編集などを行なうためのレイアウト編集処理領域92とに区分けされている。このレイアウト編集画面90では、工程表示領域91の「レイアウト編集」ボタン91dがレイアウト編集処理領域92と連結されており、印刷ジョブの作成工程がレイアウト編集の工程にあることが解るようになっている。

【0045】

レイアウト編集処理領域92には、選択されたテンプレートと登録された画像とを組み合わせて画像のレイアウトを行なったり画像の編集を行なうためのレイアウト編集領域93と、テンプレートに組み合わせる画像を選択するための画像選択領域94と、選択したテンプレートのサムネイルが表示されるサムネイル表示領域97とが設けられている。画像選択領域94には、登録画像を選択するためのタグ95aとテキストを書き込むためのタグ95bとが設けられており、タグ95aには登録された画像とそのファイル名を一覧表示する画像表示領域96aが設けられている。また、図示しないが、タグ95bには、テキストを入力するためのテキスト入力欄が設けられている。画像選択領域94には、選択された画像をレイアウト編集領域93のテンプレートに配置する「配置」ボタン94aや選択された画像をレイアウト編集領域93のテンプレートに配置された画像に入れ替える「入れ替え」ボタン94bと、選択された1枚の画像をテンプレートの複数の領域に配置する「複数配置」ボタン94cとが設けられている。したがって、ユーザは、タグ95aの画像表示領域96aに表示された画像から所望の画像を選択して「配置」ボタン94aを操作することにより選択されたテンプレートの領域に順に画像を配置することができる。また、レイアウト編集領域93のテンプレートの領域に画像が配置されている状態でタグ95aの画像表示領域

9 6 a に表示された画像から所望の画像を選択して「入れ替え」ボタン 9 4 b を操作することによりテンプレートの領域の画像を入れ替えることができる。さらに、タグ 9 5 a の画像表示領域 9 6 a に表示された画像から所望の画像を選択して「複数配置」ボタン 9 4 c を操作することによりテンプレートの複数の領域に選択した画像を複数配置することができる。レイアウト編集処理領域 9 2 には、画像登録画面 7 0 やテンプレート選択画面 8 0 と同様に「次のステップへ」ボタン 9 2 a や「前のステップへ」ボタン 9 2 b が設けられている。また、レイアウト編集処理領域 9 2 には、レイアウト編集領域 9 3 に表示されたテンプレートに組み込まれた画像に編集を加えるための「編集」ボタン 9 2 c とレイアウト編集領域 9 3 の表示倍率を変更するための「表示倍率」ボタン 9 2 d とが設けられている。レイアウト編集領域 9 3 のテンプレートに配置された画像を選択して「編集」ボタン 9 2 c を操作すると、プルダウンメニューが表示され、回転、フレームの回転、上下左右の反転、トリミング、型抜き、輪郭をソフト・シャープにする、明るさ・コントラストの設定、色を変える、セピア・モノクロ調に変換、クロスフィルタ、赤目の修正、クローン、自動修正などが選択できるようになっている。印刷ジョブ作成装置 2 0 のレイアウト編集管理部 2 4 は、こうした画像のレイアウトや編集処理を管理している。

【0046】

レイアウト編集画面 9 0 により選択されたテンプレートに画像を組み込み、更に所望の編集を施して「次のステップへ」ボタン 9 2 a が操作されると、図 1 3 に例示する印刷画面 1 0 0 を表示して、種々の印刷設定を行なって印刷する印刷処理を実行する（ステップ S 1 4 0）。図 1 3 の例の印刷画面 1 0 0 は、画像登録画面 7 0 やテンプレート選択画面 8 0 、レイアウト編集画面 9 0 の工程表示領域 7 1 、 8 1 、 9 1 と同様の工程表示領域 1 0 1 と、印刷設定と印刷実行とを指示するための印刷処理領域 1 0 2 とに分けられている。この印刷画面 1 0 0 では、工程表示領域 1 0 1 の「印刷」ボタン 1 0 1 e が印刷処理領域 1 0 2 と連結されており、印刷ジョブの作成工程が印刷の工程にあることが解るようになっている。

【0047】

印刷処理領域102には、テンプレートに組み込まれレイアウトや編集が施されて印刷される画像を表示する印刷画像表示領域103と、印刷ジョブの情報を表示するジョブ情報表示領域104と、印刷条件を設定する印刷条件設定領域105と、プリンタを設定するプリンタ設定領域106とが設けられている。ジョブ情報表示領域104には、印刷ジョブの情報としてジョブIDや受付日時、サービス、テンプレートIDなどが表示されており、印刷部数を選択入力する部数設定欄も設けられている。印刷条件設定領域105には、プリント範囲を設定するためのラジオボタンや設定欄、プリント対象を設定するためのラジオボタン、ページ番号を印刷するか否かを設定するためのラジオボタンが設けられている。プリンタ設定領域106には、印刷するプリンタを選択するプリンタ選択欄やカラーマネジメントシステム（CMS）を使用するか否かを選択するためのチェックボックス、印刷領域を設定する領域設定入力欄などが設けられており、用紙サイズや選択したプリンタに設定されている用紙タイプも表示される。ここで、プリンタ設定領域106のプリンタ選択欄には、環境設定として図6に例示した印刷プリンタ設定画面66を用いて印刷サービス毎および用紙サイズ毎に設定されたデフォルトのプリンタが表示される。印刷ジョブを実行するプリンタをデフォルトのプリンタから変更するときには、プリンタ設定領域106のプリンタ選択欄のプルダウンメニューを開いて表示されるプリンタを選択することにより行なう。また、用紙タイプには環境設定として図6に例示した印刷プリンタ設定画面66を用いて印刷サービス毎および用紙サイズ毎に設定された用紙種類が表示される。印刷処理領域102には、「前のステップへ」ボタン102bや印刷の実行を指示する「印刷開始」ボタン102c、印刷の代わりに画像ファイルとして所望のディレクトリやフォルダに書き出す「書き出し」ボタン102dが設けられている。実施例の印刷ジョブ作成装置20における印刷ジョブの作成は、この「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dが操作される前までの処理であり、「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dの操作は、こうした印刷ジョブの実行となる。なお、図9の印刷ジョブ作成処理では、この段階で終了するものとして示した。実施例の印刷ジョブ作成装置20の印刷管理部25は、こうした印刷に関する処理を管理している。

【0048】

次に、印刷画面100で「印刷開始」ボタン102cが操作されたときの処理について説明する。図14は、「印刷開始」ボタン102cが操作されたときに印刷ジョブ作成装置20で実行される印刷指示処理の一例を示すフローチャートである。印刷指示処理が実行されると、まず、印刷ジョブを実行すべきプリンタとして設定された値（プリンタ設定）を入力し（ステップS200）、このプリンタがローカルネットワーク14を介して接続されたローカルプリンタ（インクジェットプリンタ46）であるか否かを判断する（ステップS210）。ローカルプリンタであるか否かの判断は、図6の印刷プリンタ設定画面66を用いて説明したように、実施例のプリンタの設定では、ローカルプリンタであるときには印刷ジョブ作成装置20にインストールされたプリンタドライバ名が設定されており、ローカルプリンタではないときには他のローカルネットワーク15に接続された印刷ジョブ作成装置20の装置IDと対応するプリンタIDとが設定されているから、これにより行なうことができる。

【0049】

プリンタ設定がローカルプリンタ（インクジェットプリンタ46）であるときは、そのプリンタドライバを起動して印刷用データを作成し（ステップS220）、作成した印刷用データをローカルプリンタに出力する（ステップS230）。ローカルプリンタ（インクジェットプリンタ46）は、印刷用データに基づいて印刷を実行する。

【0050】

一方、プリンタ設定がローカルプリンタ（インクジェットプリンタ46）ではないときは、印刷ジョブをジョブファイルとしてファイル化し（ステップS240）、ジョブファイルをジョブ管理装置40に送信する（ステップS250）。図15は、印刷ジョブの管理状態の一例を示す説明図である。印刷ジョブは、印刷サービスが選択されたときにジョブIDが付与されてジョブ管理ファイル120に登録されると共に管理領域122が作成される。そして、画像登録画面70により画像が登録される際に画像登録用領域124が設けられる。管理領域122は、印刷ジョブの作成工程がどの工程にあるかを示すジョブ状態や作成中ジョ

ブに含まれる各ページのファイル名が格納される作品管理領域122aと、各ページが格納されるページ格納領域122bにより構成されている。ページ格納領域122bは、ページの概念が生じるテンプレートが選択された段階で作成される。画像登録用領域124は、各画像のファイル名やファイル形式が格納される画像管理領域124aと、ファイル形式毎に画像が格納される画像格納領域124bにより構成されている。なお、実施例の印刷ジョブ作成装置20では、テンプレートの選択処理が実行されるまでは、ページの概念が生じないため、テンプレートが選択されたとき、即ちレイアウト編集処理に移行したときに管理領域122のページ格納領域122bは作成されることになる。実施例の印刷指示処理のステップS240の処理では、作品管理領域122aおよびページ格納領域122bの内容をジョブファイルとしてファイル化する処理となる。図16にジョブファイルのデータ構成の一例を示す。実施例では、ジョブファイルに含まれるデータとしては、ジョブ管理装置40に送信する際に印刷ジョブ作成装置20で設定する送信用ジョブIDや送信元の印刷ジョブ作成装置20の装置ID、送信先の印刷ジョブ作成装置20の装置ID、印刷ジョブを実行するプリンタのID（プリンタID）、用紙種類、送信日時、ページ毎の画像データや印刷設定などのジョブデータが含まれる。

【0051】

図17は、印刷ジョブ作成装置20から送信されるジョブファイルを受信する際にジョブ管理装置40で実行されるジョブ受信管理処理の一例を示すフローチャートである。ジョブ受信管理処理では、印刷ジョブ作成装置20からジョブファイルが送信されると、ジョブファイルを受信すると共に（ステップS300）、ジョブファイルに含まれるジョブデータをハードディスクなどの図示しない記憶装置に格納し（ステップS310）、ジョブファイルを管理するためのジョブ管理データをジョブ管理データベース44に登録する（ステップS620）。ジョブ管理データベース44に登録されるジョブ管理データのデータ構造の一例を図18に示す。この例では、ジョブ管理データとしては、登録順に付与されるジョブ番号、送信用ジョブID、送信元の印刷ジョブ作成装置20の装置ID、送信先の印刷ジョブ作成装置20の装置ID、印刷ジョブを実行するプリンタのI

D（プリンタID），用紙種類，ジョブファイルを受信した受信日時，ジョブファイルを送信先の印刷ジョブ作成装置20に送信した送信日時，ジョブデータの格納先などが含まれる。これらのデータのうち、「送信日時」以外の各データがジョブ受信管理処理のステップS610の処理で登録され、「送信日時」についてはジョブファイルを送信先の印刷ジョブ作成装置20に送信したときに登録される。

【0052】

こうしてジョブ管理装置40のジョブ管理データベース44に登録された印刷ジョブは、ローカルネットワーク15に接続された印刷ジョブ作成装置20によるジョブファイルの送信の要請がなされたときに、ジョブファイルとして要請先の印刷ジョブ作成装置20に送信される。図19は、印刷ジョブ作成装置20によるジョブファイルの送信の要請がなされたときにジョブ管理装置40により実行されるジョブ送信管理処理の一例を示すフローチャートである。このジョブ送信管理処理は、ジョブ送信管理処理が実行されると、ジョブ管理装置40は、ジョブ管理データベース44から要請先の印刷ジョブ作成装置20の装置IDと送信先の印刷ジョブ作成装置20の装置IDとが一致する未送信のジョブ管理データを抽出し（ステップS400）、ジョブ管理データにおけるジョブデータ格納先からジョブデータを読み出して受信したジョブファイルとして要請先の印刷ジョブ作成装置20に送信する（ステップS410）。このとき、対応するジョブ管理データの送信日時にその日時が登録される。

【0053】

ローカルネットワーク15の印刷ジョブ作成装置20では、ジョブ管理装置40からジョブファイルが送信されると、図20に例示するジョブ受信処理のステップS510以降の処理として処理される。この図20のジョブ受信処理には、ジョブ管理装置40にジョブファイルの送信を要請する処理（ステップS500）も示されている。ジョブファイルの送信の要請に基づいてジョブ管理装置40からジョブファイルが送信されると、印刷ジョブ作成装置20では、ジョブファイルを受信し（ステップS510）、受付順のジョブIDを付与し（ステップS520）、ジョブファイルを印刷ジョブとして対応する管理領域122の作品管

理領域122aやページ格納領域122bを作成して格納し（ステップS530）、印刷ジョブに設定されたプリンタIDに一致するローカルネットワーク15に接続されたプリンタを印刷すべきプリンタとして設定し（ステップS540）、受信したジョブをジョブリスト領域62に表示する（ステップS550）。図21は、ジョブファイルを受信したときの印刷ジョブの管理状態の一例を示す説明図である。この図21の例では、ジョブファイルを受信すると、「000XX」のジョブIDを付与すると共にこのジョブID「000XX」に対応する作品管理領域122a、ページ格納領域122bを含む管理領域122を作成して受信したジョブファイルを印刷ジョブに変換して格納している。上述したように、実施例では、ジョブファイルは作品管理領域122aとページ格納領域122bとの内容をファイル化するから、ジョブ受信処理では管理領域122に属する部分だけが作成され、画像登録用領域124に属する部分については作成されない。なお、メニュー画面60のジョブリスト領域62に表示される印刷ジョブは、状況の欄には「実行指示」と表示され、コメントの欄には「店舗A」が表示される。したがって、ユーザは、受信したジョブであるか否かを判別することができると共に印刷ジョブを実行して得られる印刷物を店舗Aに配送する必要があることが解る。

【0054】

こうしてジョブファイルを受信した印刷ジョブ作成装置20では、メニュー画面60のジョブリスト領域62に表示された印刷ジョブが選択されると、図13に例示する印刷画面100を表示し、「印刷開始」ボタン102cが操作されると、図14に例示した印刷指示処理によって設定されたプリンタによる印刷ジョブの実行を指示する。こうして店舗Aの印刷ジョブ作成装置20により作成された印刷ジョブを店舗Bに設置されたプリンタで実行することができる。

【0055】

いま、店舗Aの印刷ジョブ作成装置20で図6の印刷プリンタ設定画面66により大伸ばしのA1サイズのデフォルトのプリンタとして店舗Bの大型プリンタ48が設定され、印刷サービスとして大伸ばしが選択されて印刷ジョブが作成され、図13の印刷画面100でプリンタ設定がデフォルトのまま「印刷開始」ボ

タン102cが操作されたときを考える。大伸ばしのA1サイズのデフォルトのプリンタ設定には大型プリンタ48のプリンタドライバがインストールされた店舗Bの印刷ジョブ作成装置20の装置IDと大型プリンタ48のプリンタIDが設定されているから、「印刷開始」ボタン102cが操作されることにより、この印刷ジョブは店舗Bの印刷ジョブ作成装置20の装置IDと大型プリンタ48のプリンタIDとを含むジョブファイルとしてジョブ管理装置40に送信され、ジョブ管理データベース44に登録される。店舗Bの印刷ジョブ作成装置20からジョブ管理装置40に対してジョブファイルの送信の要請がなされると、ジョブ管理装置40は店舗Bの印刷ジョブ作成装置20の装置IDと大型プリンタ48のプリンタIDとを含むジョブファイルを店舗Bの印刷ジョブ作成装置20に送信する。店舗Bの印刷ジョブ作成装置20では、この印刷ジョブを格納し、大型プリンタ48のプリンタIDに基づいてプリンタ設定を大型プリンタ48に設定し、ジョブリスト領域62の状況の欄に「実行指示」と表示すると共にコメントの欄に「店舗A」と表示する。そして、店舗Bの印刷ジョブ作成装置20でこの印刷ジョブが選択されて印刷画面100で「印刷開始」ボタン102cが操作されると、プリンタ設定で設定された大型プリンタ48で印刷ジョブが実行される。

【0056】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、この他、作成中の印刷ジョブの作成を中断したり、中断した印刷ジョブの作成を再開することもできる。この印刷ジョブの作成の中止は、画像登録画面70やテンプレート選択画面80、レイアウト編集画面90、印刷画面100で「メニューに戻る」ボタン71f, 81f, 91f, 101fが操作されたときにジョブ中断処理部26により行なわれ、作成中の状態を管理領域122（作品管理領域122aやページ格納領域122b）や画像登録用領域124（図15参照）に格納し、メニュー画面60を表示してジョブリスト領域62に作成中のジョブを一覧表示する。この場合、ジョブリスト領域62の状況の欄には、テンプレートが選択される前の段階で「メニューに戻る」ボタン71f, 81fが操作されたときには「編集前」と表示され、テンプレートが選択された後の段階で「メニューに戻る」ボタン91f, 101fが

操作されたときには「編集中」と表示される。こうした状況の表示により、ユーザーは作成中ジョブがテンプレートが選択された後の段階であるか否かを把握することができる。中断した印刷ジョブの作成の再開は、ジョブリスト領域62から印刷ジョブが選択されたときにジョブ再開処理部27により行なわれる。具体的には、ジョブIDに基づいて対応する作成中の印刷ジョブの作品管理領域122aからジョブの状態を読み込み、ジョブの状態に応じた処理画面を表示し、対応する作成中の印刷ジョブのページ格納領域122bに格納された各ページを用いて作成中ジョブを再現することにより行なわれる。なお、こうした印刷ジョブの中断や再開は、本発明の中核をなさないから、これ以上の説明は省略する。

【0057】

以上説明した実施例の印刷ジョブ作成装置20によれば、この印刷ジョブ作成装置20が接続されたローカルネットワークとは異なるローカルネットワークに接続されているローカルプリンタをこの印刷ジョブ作成装置20が接続されたローカルネットワークに接続されているプリンタと同様にして印刷ジョブを実行するデフォルトのプリンタとして設定することができる。したがって、作成した印刷ジョブを異なるローカルネットワークに接続されたプリンタで容易に実行することができる。しかも、デフォルトのプリンタの設定は、印刷サービス毎および用紙サイズ毎に行なうことができる。この結果、印刷ジョブに応じたプリンタ設定を印刷ジョブ毎に設定する必要がない。したがって、印刷ジョブに応じたプリンタで容易に印刷ジョブを実行することができる。また、実施例の印刷ジョブ作成装置20では、デフォルトのプリンタの設定は帳票形式で行なうから、印刷サービス毎および用紙サイズ毎に容易にデフォルトのプリンタを設定することができる。さらに、実施例の印刷ジョブ作成装置20によれば、印刷サービス毎および用紙サイズ毎に用紙種類を設定することができる。

【0058】

実施例のジョブ管理装置40によれば、印刷ジョブ作成装置20から送信されたジョブファイルを受信してジョブ管理データベース44に登録し、送信先の印刷ジョブ作成装置20から要請されたときに登録したジョブファイルを要請先の印刷ジョブ作成装置20に送信することができる。したがって、送信先の印刷ジ

ジョブ作成装置20の状態に拘わらず、その印刷ジョブ作成装置20を送信先としてジョブファイルを送信することができる。この結果、印刷ジョブ作成装置20間のジョブファイルのやりとりを管理することができる。

【0059】

こうした実施例の印刷ジョブ作成装置20やジョブ管理装置40を備える印刷ジョブ管理システム10によれば、異なるローカルネットワーク14, 15に接続された印刷ジョブ作成装置20間で印刷ジョブを実行を効率よく行なうことができる。

【0060】

ここで、実施例の印刷ジョブ作成装置20は、サービス設定管理部21や画像登録管理部22、テンプレート設定管理部23、レイアウト編集管理部24、印刷管理部25が印刷ジョブ作成手段に相当し、プリンタ設定管理部30がデフォルト装置設定手段に相当し、印刷画面100の「印刷開始」ボタン102cが操作されたときに図14の印刷指示処理を実行する印刷管理部25がジョブ実行指示手段に相当する。

【0061】

実施例の印刷ジョブ作成装置20は、ジョブ管理装置40を備え、印刷画面100の「印刷開始」ボタン102cが操作されたときに、デフォルトのプリンタが異なるネットワークに接続されているときには印刷ジョブをジョブファイルとしてジョブ管理装置40に送信し、送信先の印刷ジョブ作成装置20がジョブ管理装置40にジョブファイルの送信を要求したときにジョブ管理装置40からジョブファイルを送信するものとしたが、ジョブ管理装置40のない構成としてもよい。この場合、印刷ジョブ作成装置20からジョブファイルを直接送信先の印刷ジョブ作成装置20に送信すればよい。

【0062】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、印刷サービス毎および用紙サイズ毎にデフォルトのプリンタと用紙種類とを設定するものとしたが、印刷サービス毎および用紙サイズ毎にデフォルトのプリンタは設定するが、用紙種類は設定しないものとしてもよい。また、デフォルトのプリンタは、印刷サービス毎および用紙

サイズ毎に設定する必要はなく、印刷サービスには拘わらず、用紙サイズ毎に設定するものとしてもよい。

【0063】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、帳票形式により印刷サービス毎および用紙サイズ毎のデフォルトのプリンタと用紙種類とを設定するものとしたが、帳票形式以外の形式により印刷サービス毎および用紙サイズ毎のデフォルトのプリンタと用紙種類とを設定するものとしてもよい。

【0064】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、メニュー画面60から印刷サービスとして、大伸ばし、ダイジェスト、カレンダー、アイデア、ポストカード、写真名刺、証明写真、インデックス、シール、ラベルから選択できるものとしたが、これらのすべての印刷サービスを選択できる必要はなく、これらの印刷サービスの一部から選択できるものとしたり、これらの印刷サービスとは異なる印刷サービスから選択できるものとしたり、これらの印刷サービスとは異なる印刷サービスとこれらの印刷サービスとを組み合わせたサービスから選択できるものとしてもよい。

【0065】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、印刷サービスの他にアルバムサービスやCD書き込みサービスを選択することができるものとしたが、こうしたアルバムサービスやCD書き込みサービスを選択することができないものとしてもよい。また、CD書き込みサービスに代えて他の記憶媒体、例えばフレキシブルディスクやMD、DVD、フラッシュメモリなどへの書き込みサービスを行なうものとしてもよい。

【0066】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、ジョブリスト領域62に作成中ジョブの情報として、状況、ジョブID、サービス名、受付時間、更新時間、用紙サイズ、部数、合計枚数、コメントを表示するものとしたが、これらの情報のすべてを表示する必要はなく、これらの情報のうちの一部の情報を表示するものとしたり、これらの情報とは異なる情報を表示するものとしてたり、これらの情報と箱

となる情報とこれらの情報の一部とを組み合わせた情報を表示するものとしてもよい。

【0067】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、印刷ジョブの作成工程は、印刷サービスの選択した後の工程として、画像の登録処理の工程、テンプレートの選択処理の工程、レイアウトや編集の処理の工程、印刷の工程の4つの工程としたが、工程の設定は如何なる設定としてもかまわない。

【0068】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、印刷ジョブの中断は如何なる工程のどの状態でも可能なものとしたが、予め定めた工程の状態のときだけ中断できるものとしてもよい。

【0069】

実施例では、本発明の一実施形態として印刷ジョブ作成装置20の形態やジョブ管理装置40の形態、印刷ジョブ作成装置20とジョブ管理装置40とを備える印刷ジョブ管理システム10の形態として説明したが、デフォルトのプリンタを設定する方法の形態としたり、こうしたデフォルトのプリンタの設定方法を用いて印刷ジョブを作成して実行の指示を与える印刷実行指示方法の形態としてもよい。また、コンピュータを印刷ジョブ作成装置20として機能させるプログラムの形態としたり、コンピュータにデフォルトのプリンタの設定方法に実現させるプログラムの形態としたり、コンピュータに印刷実行指示方法を実行させるプログラムの形態としてもよい。このプログラムの形態の場合、印刷ジョブ作成装置20の動作やジョブ管理装置40の動作として説明した各動作を各手順として適当なプログラミング言語を用いてプログラムすればよい。

【0070】

以上、本発明の実施の形態について実施例を用いて説明したが、本発明はこうした実施例に何等限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において、種々なる形態で実施し得ることは勿論である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 印刷ジョブ管理システム10の構成の概略を示す構成図。

- 【図2】 印刷ジョブ作成装置20の構成の概略を示す説明図。
- 【図3】 ジョブ管理装置40の構成の概略を示す構成図。
- 【図4】 メニュー画面60の一例を示す説明図。
- 【図5】 環境設定選択画面65の一例を示す説明図。
- 【図6】 印刷プリンタ設定画面66の一例を示す説明図。
- 【図7】 プリンタ設定欄67のプルダウンメニューの一例を示す説明図。
- 【図8】 用紙種類設定欄68のプルダウンメニューの一例を示す説明図。
- 【図9】 印刷ジョブ作成処理の一例を示すフローチャート。
- 【図10】 画像登録画面70の一例を示す説明図。
- 【図11】 テンプレート選択画面80の一例を示す説明図。
- 【図12】 レイアウト編集画面90の一例を示す説明図。
- 【図13】 印刷画面100の一例を示す説明図。
- 【図14】 印刷指示処理の一例を示すフローチャート。
- 【図15】 印刷ジョブの管理状態の一例を示す説明図。
- 【図16】 ジョブファイルのデータ構成の一例を示す説明図。
- 【図17】 ジョブ受信管理処理の一例を示すフローチャート。
- 【図18】 ジョブ管理データのデータ構造の一例を示す説明図。
- 【図19】 ジョブ送信管理処理の一例を示すフローチャート。
- 【図20】 ジョブ受信処理の一例を示すフローチャート。
- 【図21】 印刷ジョブの管理状態の一例を示す説明図。

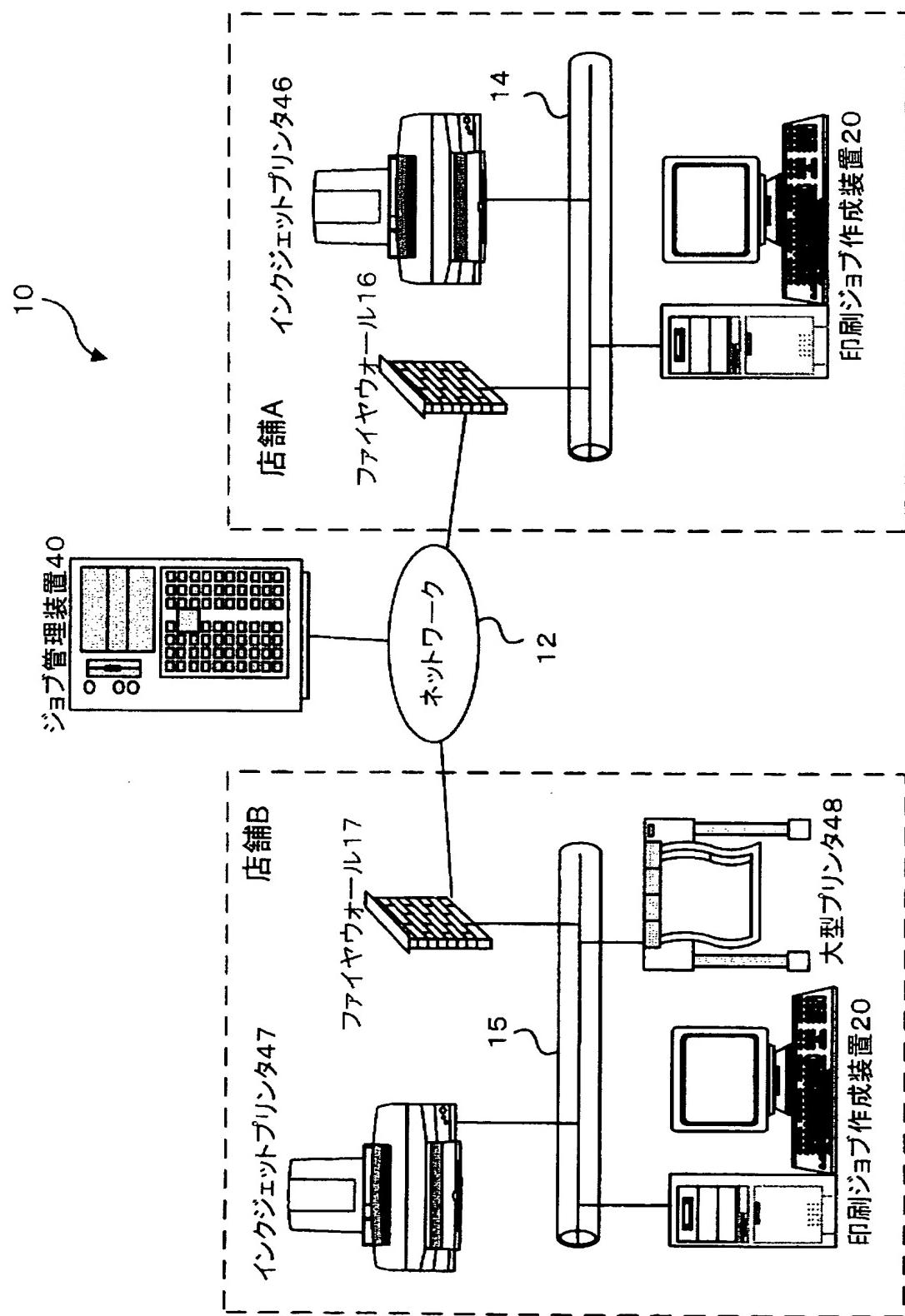
【符号の説明】

10 印刷ジョブ管理システム、12 ネットワーク、14, 15 ローカルネットワーク、16, 17 ファイヤウォール、20 印刷ジョブ作成装置、21 サービス設定管理部、22 画像登録管理部、23 テンプレート設定管理部、24 レイアウト編集管理部、25 印刷管理部、26 ジョブ中断処理部、27 ジョブ再開処理部、28 ジョブ送信管理部、29 ジョブ受信管理部、30 プリンタ設定管理部、40 ジョブ管理装置、41 ジョブ受信管理部、42 ジョブ送信管理部、44 ジョブ管理データベース、46, 47 インクジェットプリンタ、48 大型プリンタ、60 メニュー画面、61 サービ

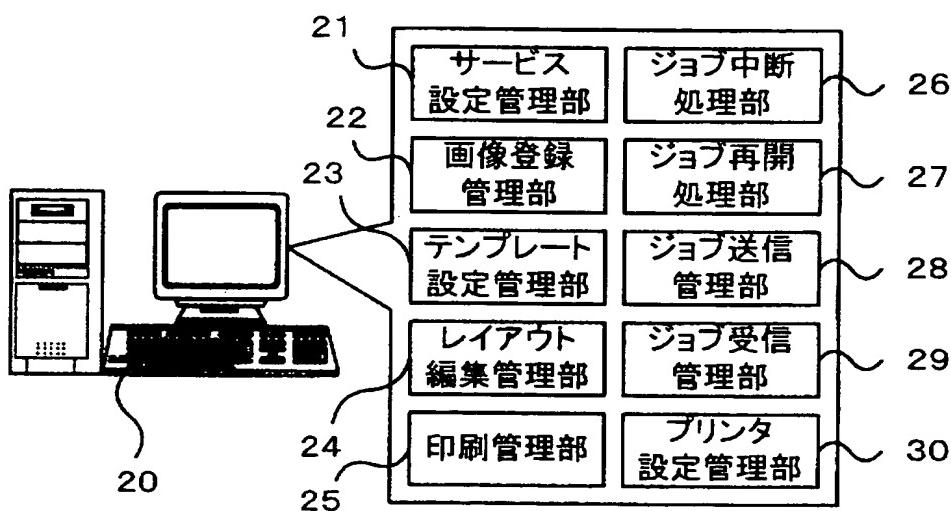
ス選択領域、62 ジョブリスト領域、63 「アプリケーションの終了」ボタン、64 「環境設定」ボタン、65 環境設定選択画面、65a 「印刷プリンタの設定」ボタン、66 印刷プリンタ設定画面、67 プリンタ設定欄、67a プルダウンメニュー、68 用紙種類設定欄、68a プルダウンメニュー、70 画像登録画面、71, 81, 91, 101 工程表示領域、71a, 81a, 91a, 101a 「サービス種類表示」ボタン、71b, 81b, 91b, 101b 「画像登録」ボタン、71c, 81c, 91c, 101c 「テンプレート選択」ボタン、71d, 81d, 91d, 101d 「レイアウト編集」ボタン、71e, 81e, 91e, 101e 「印刷」ボタン、71f, 81f, 91f, 101f 「メニューに戻る」ボタン、72 画像登録処理領域、72a, 82a, 92a 「次のステップへ」ボタン、72b, 82b, 92b, 102b 「前のステップへ」ボタン、73 作業領域、74 画像選択領域、74a 格納場所表示領域、74b 画像表示領域、75 登録画像表示領域、75a 画像表示領域、75b 「登録削除」ボタン、75c 「すべて登録削除」ボタン、76 「登録」ボタン、77 「すべて登録」ボタン、80 テンプレート選択画面、82 テンプレート選択処理領域、83 設定領域、84 テンプレート選択領域、85a～85f タグ、86a テンプレート表示領域、90 レイアウト編集画面、92 レイアウト編集処理領域、92c 「編集」ボタン、92d 「表示倍率」ボタン、93 レイアウト編集領域、94 画像選択領域、94a 「配置」ボタン、94b 「入れ替え」ボタン、94c 「複数配置」ボタン、95a, 95b タグ、96a 画像表示領域、97 サムネイル表示領域、100 印刷画面、102 印刷処理領域、102c 「印刷開始」ボタン、102d 「書き出し」ボタン、103 印刷画像表示領域、104 ジョブ情報表示領域、105 印刷条件設定領域、106 プリンタ設定領域、120 ジョブ管理ファイル、122 管理領域、122a 作品管理領域、122b ページ格納領域、124 画像登録用領域、124a 画像管理領域、124b 画像格納領域。

【書類名】

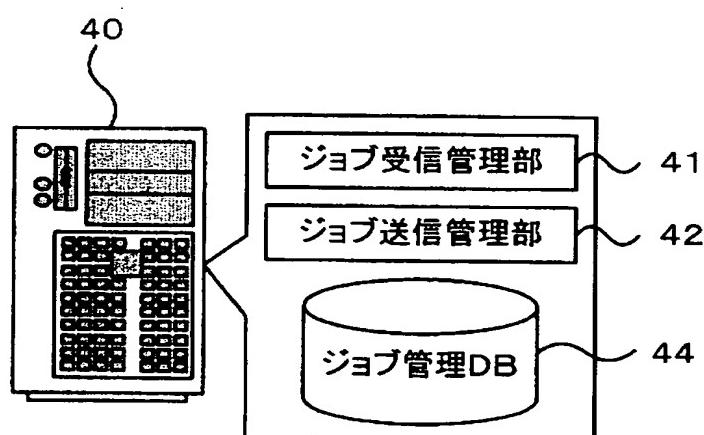
【図 1】



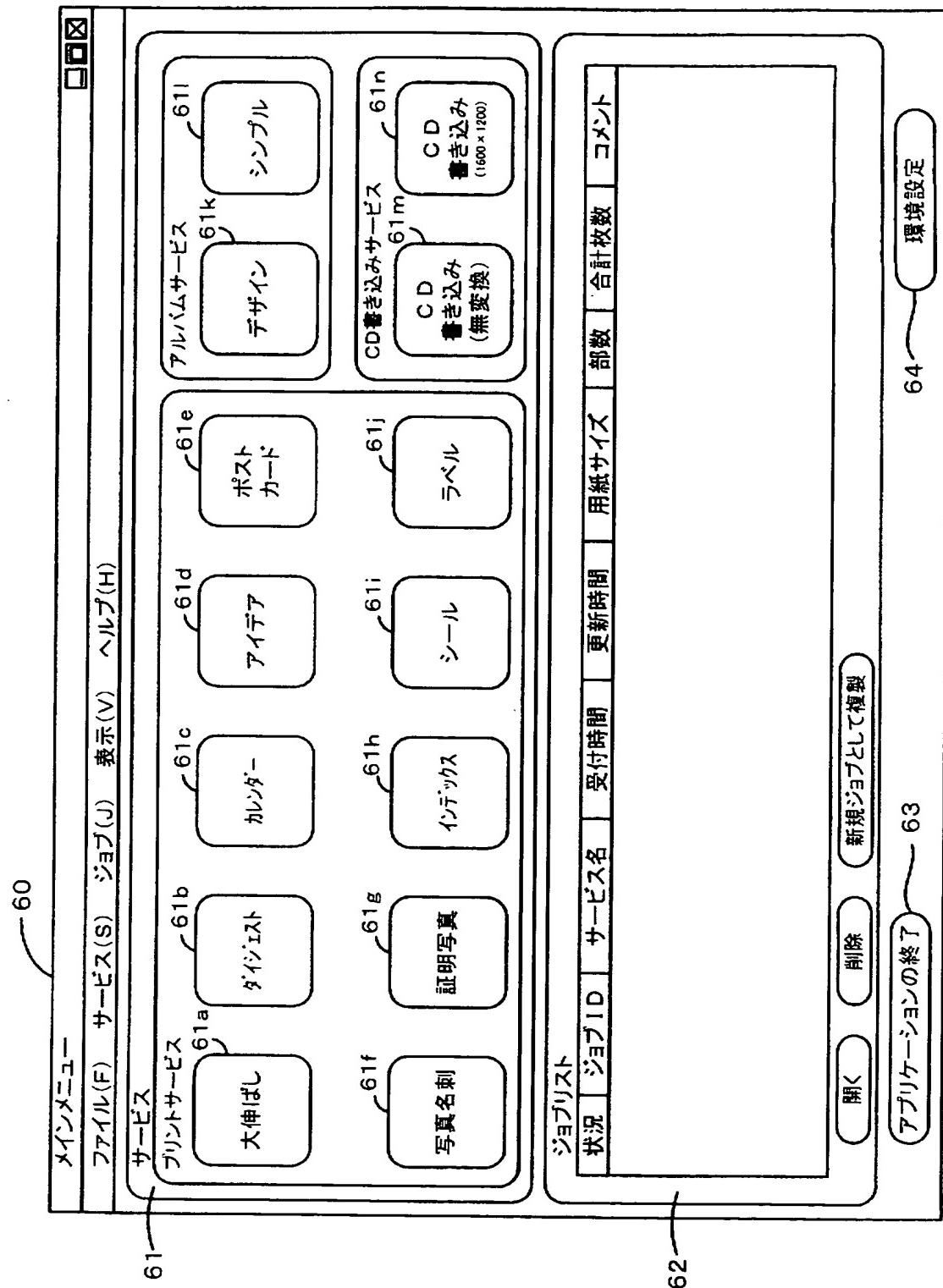
【図 2】



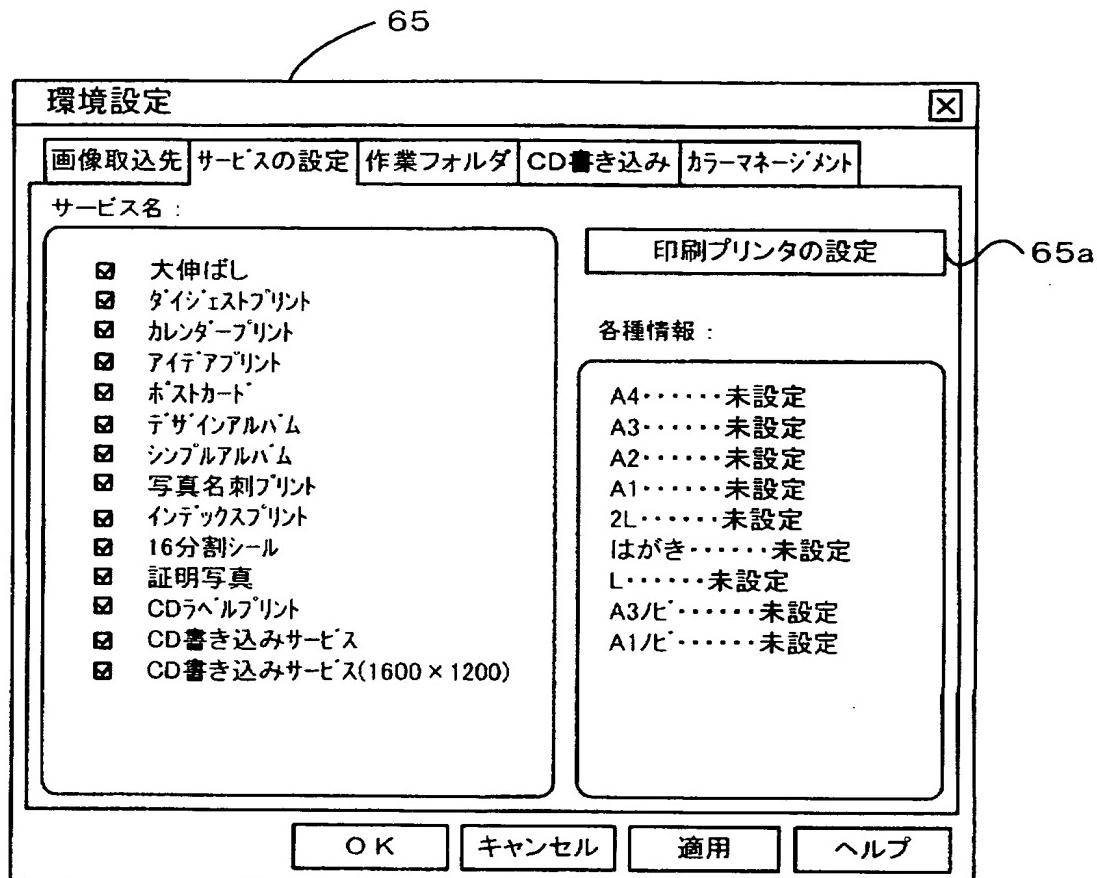
【図 3】



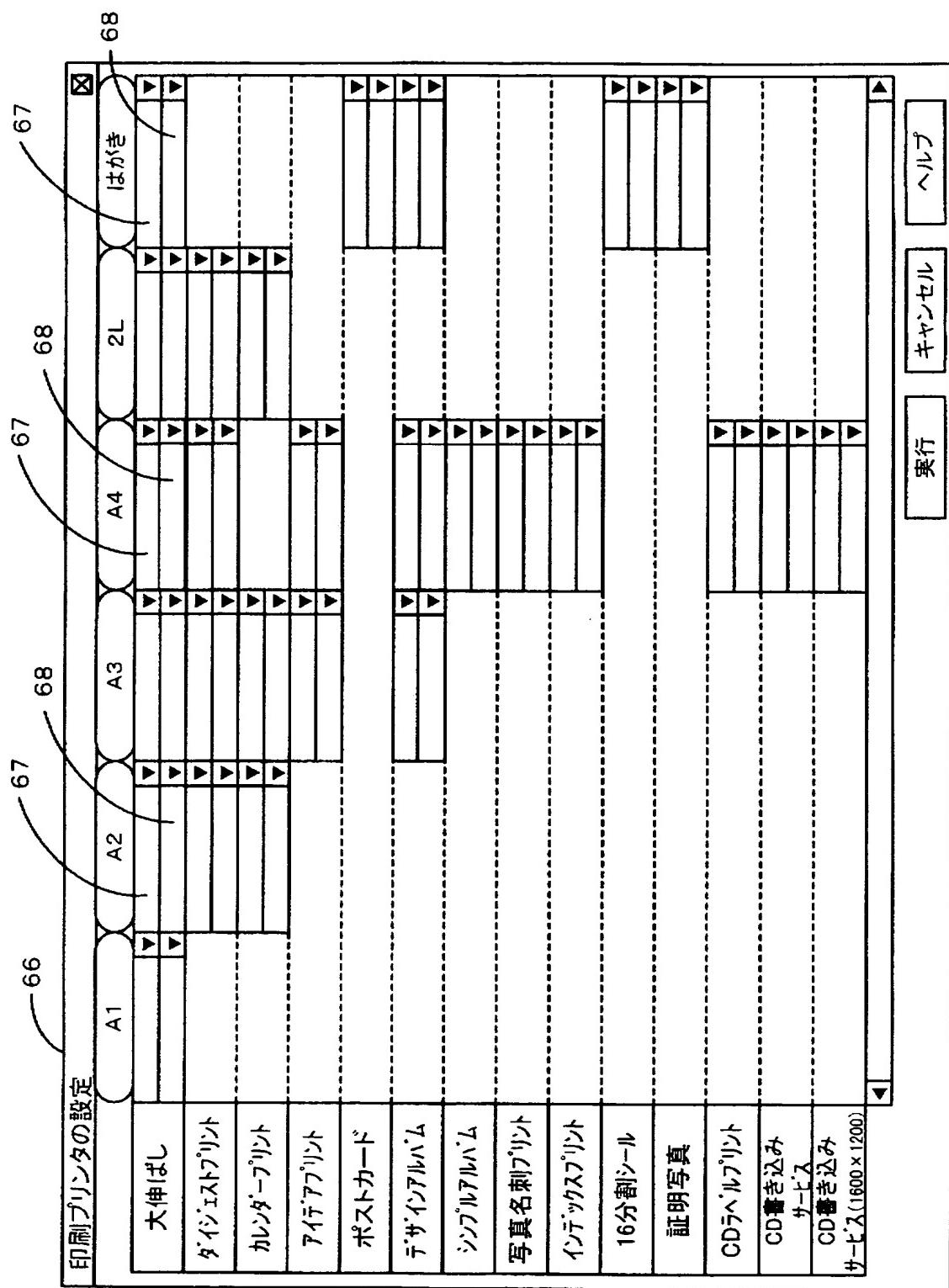
【図4】



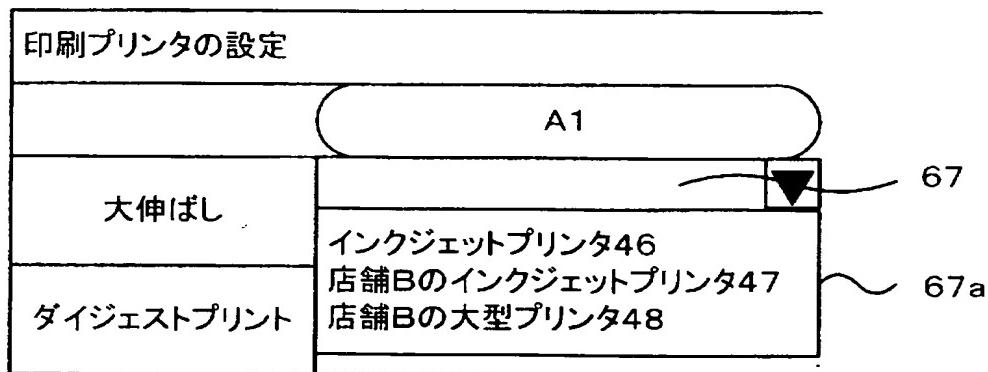
【図5】



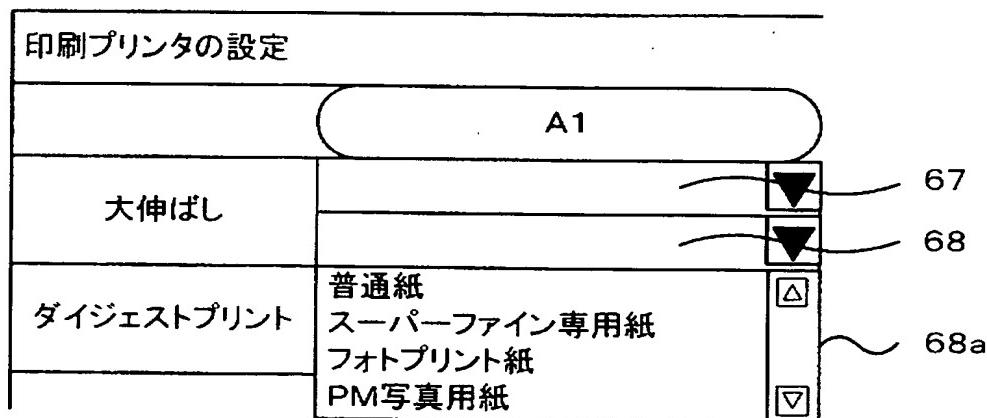
【図6】



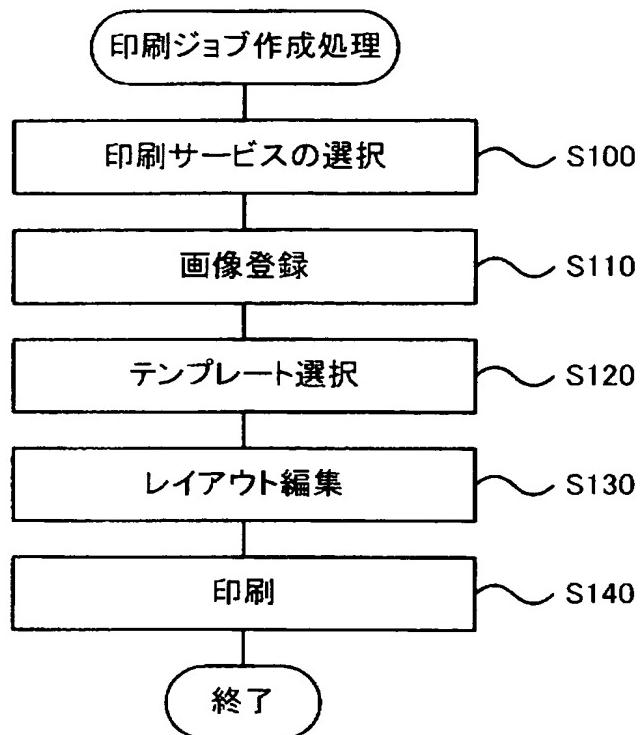
【図7】



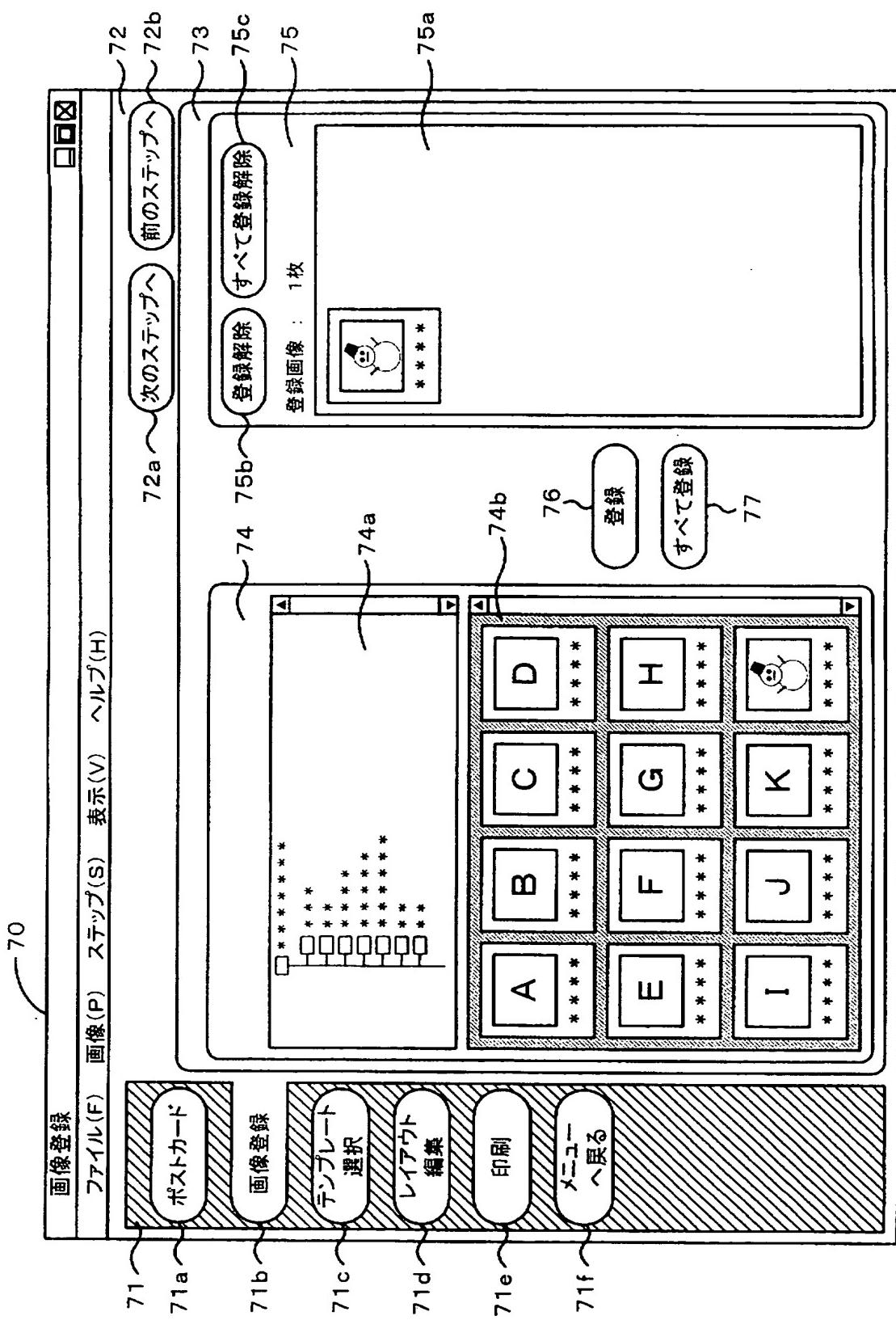
【図8】



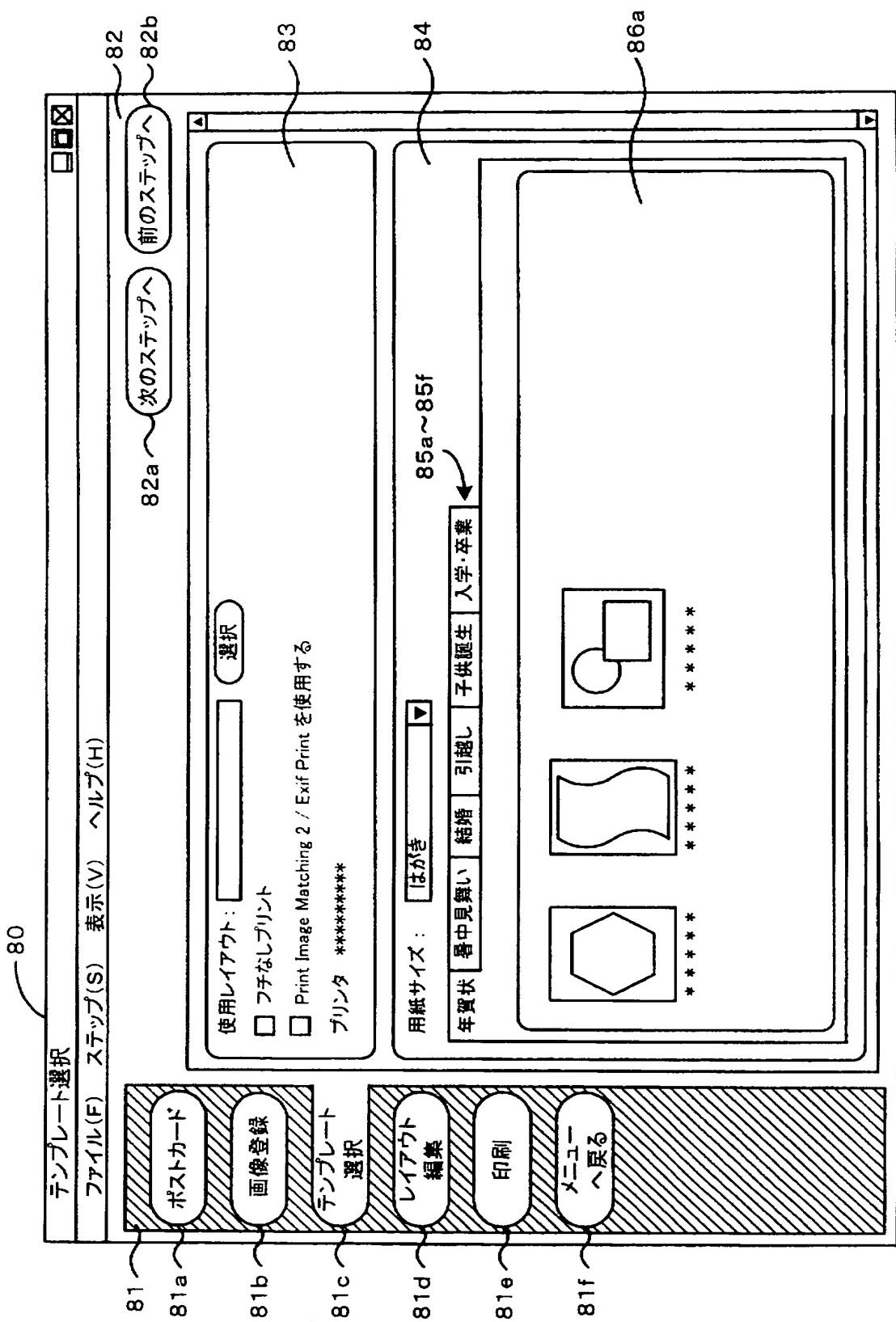
【図9】



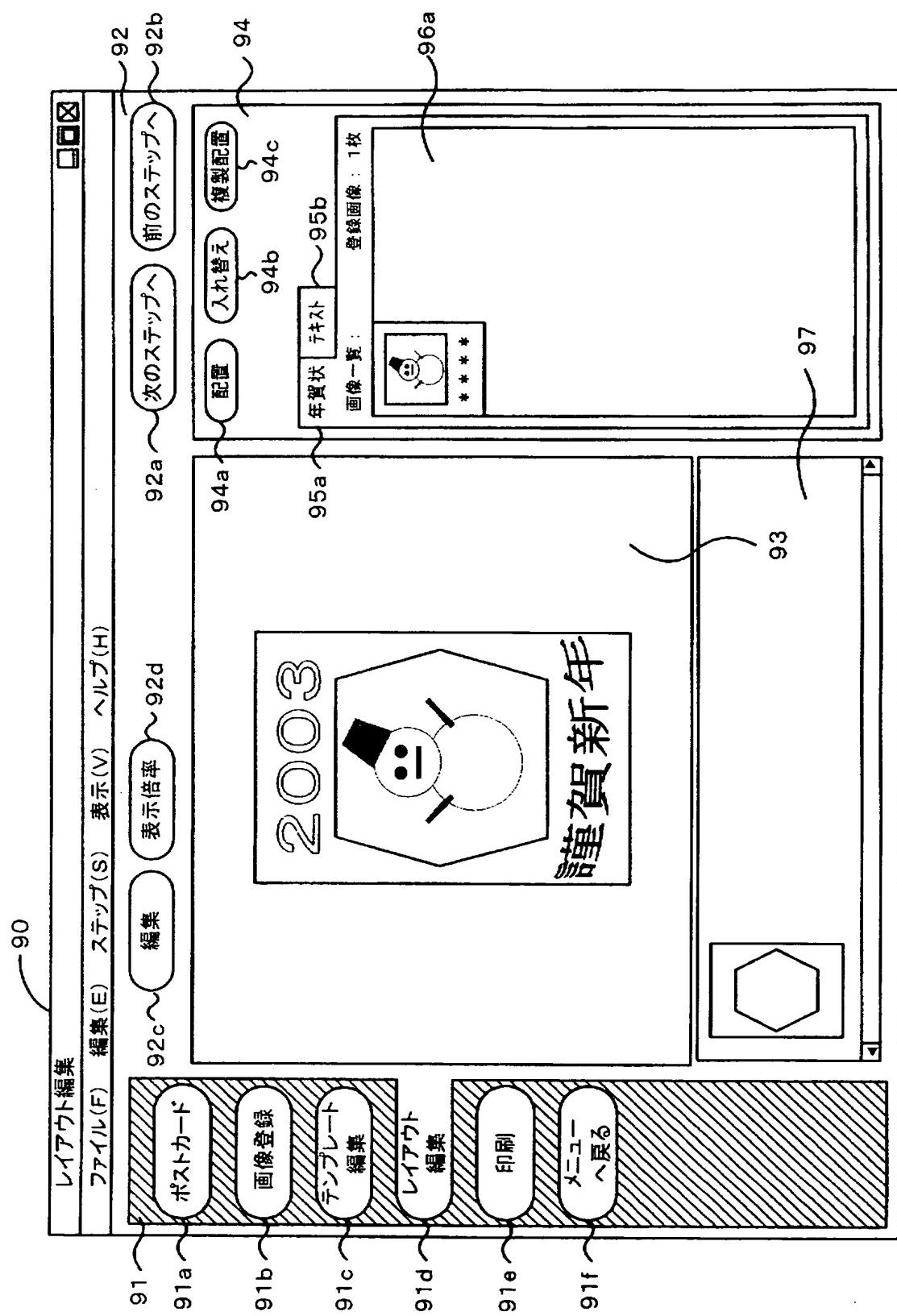
【図10】



【図11】

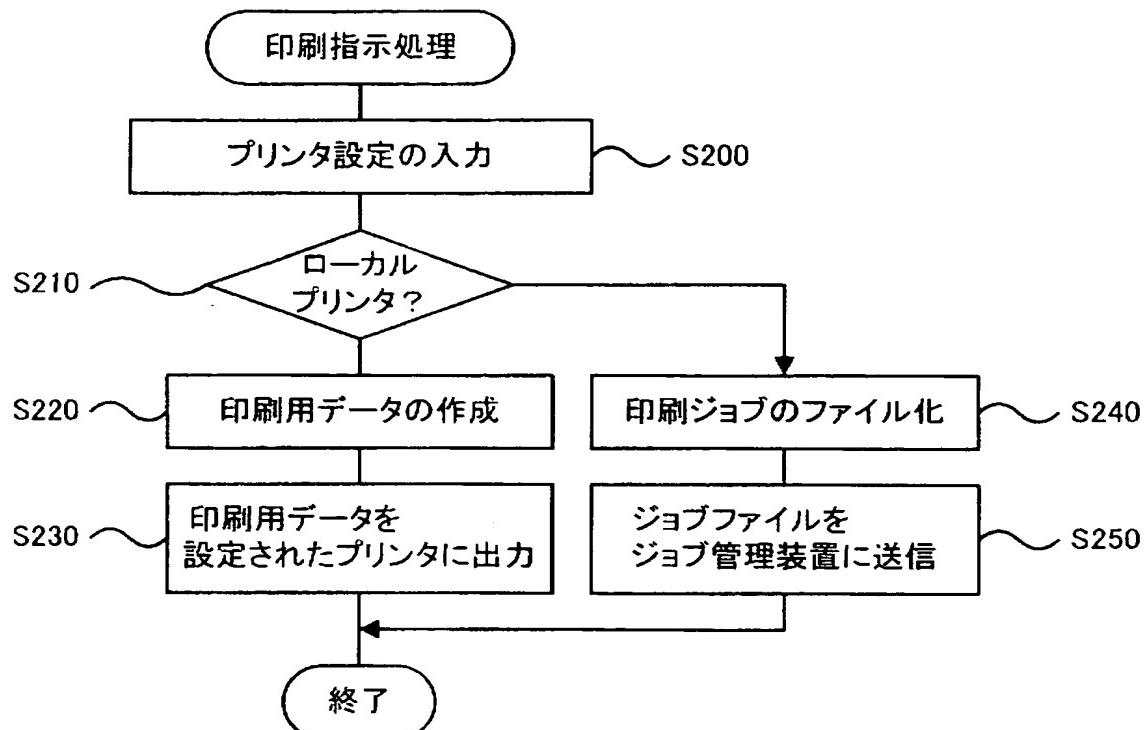


【図12】

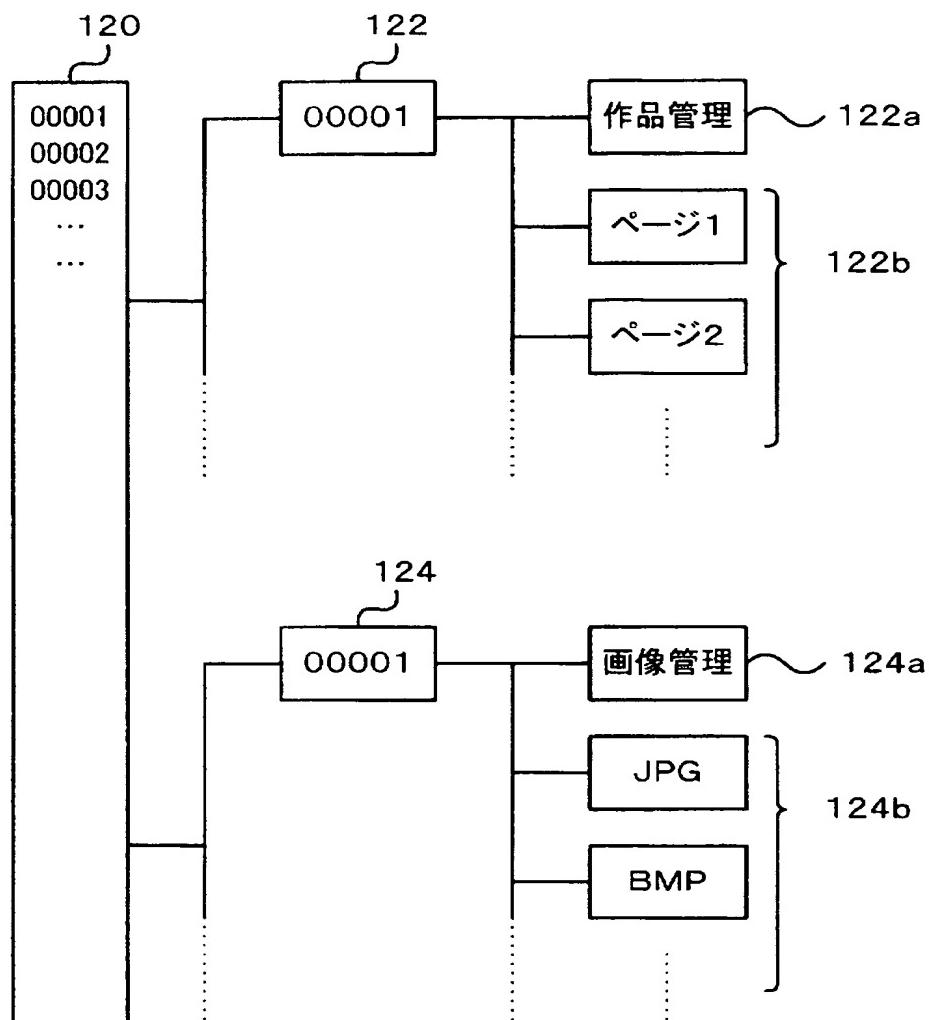


【図13】

【図14】



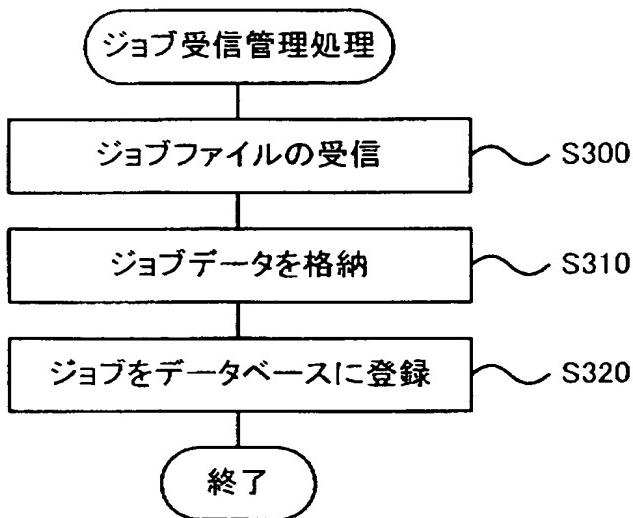
【図15】



【図16】

送信用ジョブID
送信元の装置ID
送信先の装置ID
プリンタID
用紙種類
送信日時
ジョブデータ

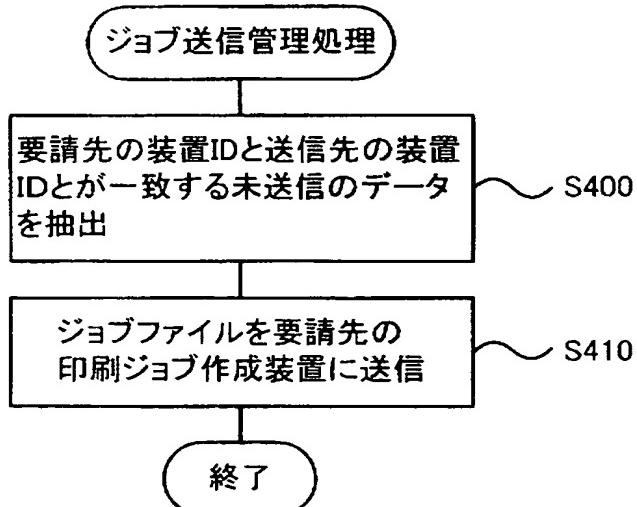
【図17】



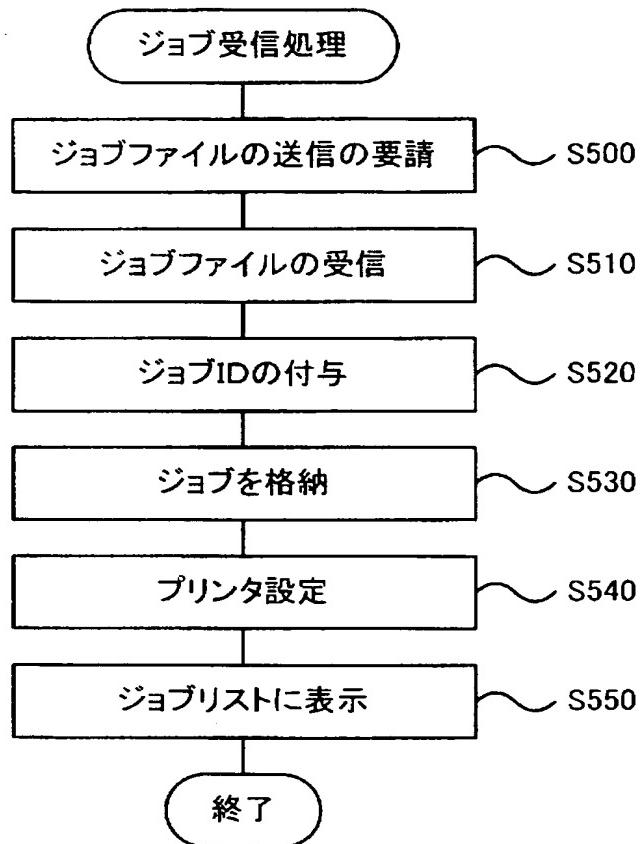
【図18】

ジョブ番号
送信用ジョブID
送信元の装置ID
送信先の装置ID
プリンタID
用紙種類
受信日時
送信日時
ジョブデータ格納先

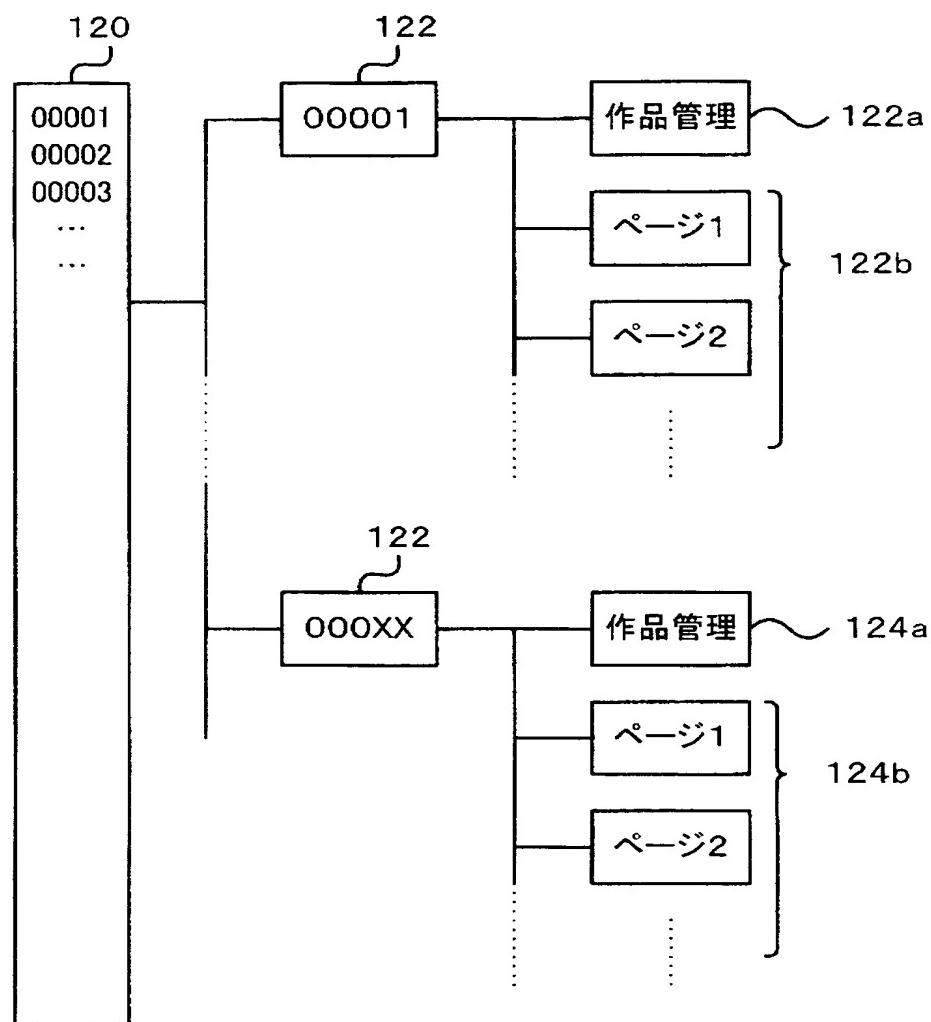
【図19】



【図20】



【図21】





【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 異なるローカルネットワークに接続された印刷装置をデフォルトの印刷装置として設定して印刷ジョブを実行する。

【解決手段】 印刷サービス毎および用紙サイズ毎に帳票形式により印刷ジョブを実行するデフォルトのプリンタを設定する上段のプリンタ設定欄67と、印刷用紙の種類を設定する下段の用紙種類設定欄68との二段の設定欄として構成する。そして、プリンタ設定欄67には、プルダウンメニューによりローカルネットワークに接続されたプリンタと異なるネットワークに接続されたプリンタとが選択できるようにする。異なるネットワークに接続されたプリンタがデフォルトのプリンタとして設定された印刷ジョブの実行指示を行なうと、そのプリンタのドライバがインストールされた装置に印刷ジョブを送信し、その装置で印刷ジョブの実行を行なわせる。

【選択図】 図6

特願2003-066822

出願人履歴情報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号
氏名 セイコーエプソン株式会社